

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030222
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森ルリ子			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	01	食育の促進と食の啓発							
				事務事業	01	地区組織育成事業							
	予算事業名	食生活改善推進事業費			会計コード	002	款	08	項	03	目	03	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・組織の育成・指導 ・会員の資質向上のための研修会を開催（健康・病態講座、料理実習）												
現状と背景 （どうして）	市民の生活習慣病有病率の増加により、栄養・食生活の改善が必要。健康意識を高め、自分・家族・地域の健康づくりを推進する必要がある。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者 食生活改善推進員及び市民											
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	同上											
手段・方法 （ ど う や っ て ）	自分・家族の健康を考え、地域における健康づくり推進のため、健康な茅野市づくりの担い手として活躍できるリーダーを養成する。 研修会を開催し、会員の資質向上を図り、健康意識を高め、食に関心を持ってもらうことで健康づくりをより推進する。 毎月の研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員へ伝えていく。 食育ボランティア団体として、自ら食育活動ができるようにサポートしていく。 おいしく楽しく健康講座を開催し、食生活改善推進員を増やす。												
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		研修会の開催（食改）	研修会開催数	回	研修会実施回数					14			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	研修会参加者数	人	研修会参加者数					460			

実 施 状 況 （ D O ）	項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
	実 施 状 況 （ D O ）	事業費等	(a)	円	507,016	457,838	385,947	404,153
財源内訳			円					
国庫支出金		円						
県支出金		円	153,615	79,000	69,000	58,000		
地方債		円						
その他特定財源		円	260,195	341,060	291,710	310,449	401,000	
一般財源		円	93,206	37,778	25,237	35,704	122,000	
正規職員		人	0.40	0.40	0.40	0.40		
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
合計	人	0.40	0.40	0.40	0.40			
D O （ 評 価 指 標 ）	活動指標	対象（者）数						
		延利用（者）数（b）						
	活動指標	単位コスト（a）/（b）	円	—	—	—	—	—
		受益者負担額	円					
	活動指標	市民一人当たりのコスト	円	9.00	8.00	7.00	7.00	9.00
		活動指標	研修会開催数	回	14	14	14	14
	活動指標		実績		16	14	15	16
		活動指標	達成率	%	114.29	100.00	107.14	114.29
	活動指標		目標	—				
		活動指標	実績	—				
活動指標	達成率		%	—	—	—	—	—
	成果指標	研修会参加者数	人	460	460	460	460	460
成果指標		実績		445	423	413	438	460
	成果指標	達成率	%	96.74	91.96	89.78	95.22	100.00
成果指標		目標	—					
	成果指標	実績	—					
成果指標		達成率	%	—	—	—	—	—
	備考							

事務事業名	食生活改善推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030222
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森ルリ子	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	乳幼児健診試食づくりの調理実習を実施し、健診時に試食と説明がスムーズに出来るようにした。月1回の学習会の実施。	試食づくりは、衛生面や調理方法、保護者の皆さんへの説明方法等、注意を要することが多いので、繰り返し担当者へ伝える必要がある。
第2期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の研修会、健康づくりのつどい、地区料理講習会、高校での調理実習等への企画、支援を行った。	調理面、衛生面など個人差が大きく、繰り返し基本にもどり、支援をしていく必要がある。
第3期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の研修会(11月は2回)、地区料理講習会、食育イベント等での支援を行った。	調理面、衛生面の基本や、栄養面の情報提供等繰り返し伝えていく必要がある。地区料理講習会の機会が減ってきているので、PRしていく必要がある。
第4期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。保健補導員のいない地区にも地区料理講習会のPRをする。	月1回の研修会の実施。地区料理講習会、地区育児相談試食づくりの実習を行った。	食改の担当者に、料理講習会のテーマを明確なねらいをもって、実施してかれるよう支援していく必要がある。

事中評価

管理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦
	年々地区料理講習会の機会が減少してきている。(保健補導員数の減少もあり)		現状維持	③	⑥	⑨
	料理講習会で、テーマのねらいがあやふやで、住民に伝える内容が弱い場合があった。		縮小	④	⑧	⑩
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		休廃止	①		

皆減縮小現状維持拡大  
コスト投入の方向性

評価年度	当年度
------	-----

評価の観点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定					
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					レ					3					4	A
課題	研修会を通して、地域の食と健康のリーダーの育成が課題。まずは、自分、家族から地域へ食を通しての健康づくりや食育活動を行っていくこと。															記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号					
総合評価	細施策評価前 生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。										細施策評価後 生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。										
	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性										

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後															
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止											
改革・改善策																					
	地区料理講習会や高校生の食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員に伝えていく。										地区料理講習会や高校生の食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員に伝えていく。										

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	離乳食教室事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030220
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	01	食育の促進と食の啓発								
				事務事業	03	健康づくり事業								
	予算事業名	離乳食教室事業費			会計コード	002	款	08	項	03	目	02	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	もぐもぐ離乳食教室：6～8か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年12回健康管理センターで実施する。 ぱくぱく離乳食教室：11か月～1歳2か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年6回健康管理センターで実施する。												
	現状と背景 （どうして）	生活様式の多様化、様々な情報が氾濫する中、子どもの頃からの生活リズムの乱れが目立つ。生活リズムは大人の生活、食事が関係していて、生活習慣病有病率の増加にもつながっている。食環境が多様化した中で、健康を維持・増進する為に望ましい食品を選択する力、望ましい食生活を送る力をつける等健康意識を高め、実践していく必要がある。												
	目的	受益者 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
		意図 （どんな状態にしたいか）	離乳食についての正しい知識を習得し、健康意識を高め、子どもや家族の健康増進のため望ましい食生活を実践する。											
	手段・方法 （どうやって）	4か月健診・10か月健診及び広報で募集、各離乳食教室で次回のご案内、募集をする。 離乳食の話、調理説明、調理実習、試食、個別相談												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		教室開催による食生活及び離乳食の理解の向上	教室実施回数	回	教室実施回数				18					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		食生活及び離乳食への理解・興味を持って実践につなげてもらう	教室参加者数	人	教室参加者数				360					

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）
			事業費等(a)	円	146,022	116,038	207,008
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円		22,000	56,000	40,000	
	地方債	円					
	その他特定財源	円	107,511	86,442	151,008	175,209	172,000
	一般財源	円	38,511	7,596		12,884	52,000
職員数	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数(b)						
状況	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	3.00	2.00	4.00	4.00	4.00
	活動指標	教室実施回数	目標	18	18	18	18
実績			18	18	18	18	18
達成率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
-		目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	教室参加者数	目標	360	360	360	360
実績			300	320	192	132	360
達成率		%	83.33	88.89	53.33	36.67	100.00
-		目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
	備考						

事務事業名	離乳食教室事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030220
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。	4か月児健診、10か月児健診で離乳食教室のPRをした。もぐもぐ離乳食教室は、参加者は少なめだが、満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。	ネットや本等で情報が得られていたり、地区の育児相談でも試食を出して、もぐもぐ離乳食教室の参加者は減少している。
第2期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。時代に合った離乳食教室になっているか検討する。	4か月児健診、10か月児健診で離乳食教室のPRをした。ばくばく離乳食教室で子供用のパイプスを購入し、使用した。子どもが姿勢が安定し、手づかみ食べしやすくなった。	アンケート内容を参考に試食や講話、資料から離乳食の理解が深まるようにさらに検討が必要である。
第3期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。時代に合った離乳食教室になっているか検討する。	4か月児健診、10か月児健診で離乳食教室のPRをした。もぐもぐ離乳食教室は、参加者は少なめだが、満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。	ネットや本等で情報が得られていたり、地区の育児相談でも試食を出して、もぐもぐ離乳食教室の参加者は減少している。
第4期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。時代に合った離乳食教室になっているか検討し、来年度の内容を検討し、決定する。	4か月児健診、11か月児健診で離乳食教室のPRをした。もぐもぐ離乳食教室は、参加者は少なめだが、満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。	ネットや本等で情報が得られていたり、地区の育児相談でも試食を出して、もぐもぐ離乳食教室の参加者は減少している。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 もぐもぐ離乳食教室の参加者が減少している。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） もぐもぐ離乳食教室の参加者が減少しているので、教室内容を検討し、来年度の内容を決定する。	<table border="1"> <tr> <td>方向性</td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大		コスト投入の方向性														
方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大																		
	コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4			レ		3					4	A
チェック					4			レ		3					4	
課題	参加者の多様な疑問に答えたいかのように、スタッフの力量をつけていくこと。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
評価	もぐもぐ離乳食教室は毎月開催になり1回の参加人数は減少した。ばくばくは手づかみ食べをしながら試食と相談ができるようにし、多くの人に参加してもらえた。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。参加者が講話や資料や媒体からより理解が深まるよう、さらに内容の検討が必要である。また、多様な疑問に対して、十分な支援をして行かれるよう、力量形成をしていきたい。		②	⑤	⑦	もぐもぐ離乳食教室は毎月開催になり1回の参加人数は減少した。ばくばくは手づかみ食べをしながら試食と相談ができるようにし、多くの人に参加してもらえた。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。参加者が講話や資料や媒体からより理解が深まるよう、さらに内容の検討が必要である。また、多様な疑問に対して、十分な支援をして行かれるよう、力量形成をしていきたい。		②	⑤	⑦
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
方向性			②	⑤	⑦			③	⑥	⑨
方向性			④	⑧	⑩					
方向性		①								
方向性	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	乳幼児健診と合わせて、いつでも相談できる体制の教室の構成にしたが、教室の参加者は減少した。参加しやすい教室になるように、ごっこく・もぐもぐ離乳食教室とし、開始の時に参加できるようにする。					乳幼児健診と合わせて、いつでも相談できる体制の教室の構成にしたが、教室の参加者は減少した。参加しやすい教室になるように、ごっこく・もぐもぐ離乳食教室とし、開始の時に参加できるようにする。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名		食育事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030221			
担当部署		健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝		連絡先	330				
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進								
			細施策	01	食育の促進と食の啓発								
			事務事業	03	健康づくり事業								
予 算 事 業 名	食育事業費			会計コード	002	款	08	項	03	目	03	事業	01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	親子料理教室：茅野市内の小学生親子を対象とし、夏休みを利用して年3回実施する。 男性料理教室：茅野市内の成人男性を対象とし、年3回実施する。 子育てママの料理教室：子育て中の母を対象とし、同じテーマで2回ずつ年4回実施。 子育て中でも参加しやすいように託児つきで行う。												
現状と背景 (どうして)	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。												
目的	受益者 (誰のために)	市民											
	対象 (直接働きかける)	同上											
	意 図 (どんな状態にしたいか)	食に対する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。											
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	・親子料理教室：学校を通しチラシの配布、食育の話、調理実習、試食 ・男性料理教室、子育てママの料理教室：テーマを設けて企画し広報で募集、健康に関する話、調理実習、試食												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数					10			
		成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数					200			

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)			
事業費等(a)	円	397,206	385,111	371,108	317,005	385,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円		24,000	35,000	47,000				
地方債	円								
その他特定財源	円	292,446	286,883	280,495	243,508	312,000			
一般財源	円	104,760	74,228	55,613	26,497	73,000			
職員数	人								
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30				
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.30				
対象(者)数									
延利用(者)数(b)									
単位コスト(a)/(b)	円	—	—	—	—	—			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	7.00	7.00	7.00	6.00	7.00			
D	活動指標	教室実施回数	目標	回	17	17	10	10	10
			実績	回	17	17	10	10	10
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		—	目標	—	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—	—			
—	達成率	%	—	—	—	—			
O	成果指標	教室参加者数	目標	人	420	420	200	200	200
			実績	人	365	367	199	157	200
		達成率	%	86.90	87.38	99.50	78.50	100.00	
		—	目標	—	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—	—			
—	達成率	%	—	—	—	—			
備考	H28年度から、親子料理教室(年4回→年3回)、料理講座(年6回→年0回)へ変更								

事務事業名	食育事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030221
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	各教室の開催時期を検討する。 魅力ある料理教室の企画をいく。	親子料理教室のメニューを決定し、チラシの作成を行った。	魅力ある教室になるよう企画を検討し、参加者が、楽しく食育を学び、満足できるようにする。
第2期	親子料理教室をの参加者を募集し、夏休みに3回開催する。 子育てママの料理教室の計画を立て、献立を決定し、募集チラシを作成する。	親子料理教室を3日間開催し、46組96名の参加があった。 子育てママの料理教室の計画を立てた。	子育てママの料理教室の参加者を募集し、多くの参加者を募る。
第3期	子育てママの料理教室を2回開催し、簡単に手作りできるメニューを取得できるようにする。	子育てママの料理教室を開催し、20人の参加があった。 男性料理教室、子育てママの料理教室の計画を立てた。	子育てママの料理教室は、家庭教育センターの講座と同じ日になってしまい、参加者が少なめだった。多くの人に参加してもらえるように計画する。
第4期	男性料理教室、子育てママの料理教室を開催する。	男性料理教室、子育てママの料理教室を開催した。 男性はのべ18人、子育てママは23人の参加があった。	魅力ある教室になるよう企画を検討し、参加者が、楽しく食育を学び、満足できるようにする。

事中評価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 親子料理教室の日程と学校行事が重なった日があり、その日の参加者が少なかった。学校行事との調整が必要。また、仕事を携えている母親から休日開催を望むこえもあったので、検討する。	今後の方向性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 第2次食育推進計画を推進するため、郷土料理を広めるための講座と、病態講座を行う。郷土料理講座は3歳以下の親子を対象とし、茅野産食材を使った料理や、昔から食べ継がれてきた料理を紹介する。病態講座は、特定保健指導対象者で血圧の高い方対象の講座とし、病態と味の確認、食事の整	方向性																
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦														
現状維持	③	⑥	⑨														
縮小	④	⑧	⑩														
休廃止	①																

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4			レ		3					4	A	
チェック					4			レ		3					4		
課題	幅広い対象者に参加してもらいたい。子育てママの料理教室は、託児のある講座で託児希望のある参加者が中心となるため、託児等スタッフの人数が多い。															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	B
																前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	親子料理教室の参加者が多く、食育推進につながる。子育てママの料理教室、男性料理教室は参加者は少なめであるが、参加者の満足度は高くなっている。	親子料理教室の参加者が多く、食育推進につながる。子育てママの料理教室、男性料理教室は参加者は少なめであるが、参加者の満足度は高くなっている。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

今後の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
現状維持	③	⑥	⑨	レ						
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
改革・改善策	幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理教室は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。					幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理講座は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進員養成事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度	整理番号	04030223
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 恵
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	03	健康づくり事業
	予算事業名	食生活改善推進員養成事業費			会計コード	002 款 08 項 03 目 03 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	おいしく・楽しく健康講座：茅野市内の20歳から65歳くらいまでの成人男女の対象とし、年6回健康に関する講座を実施する。この講座を修了（所定の内容を学習）した人は、食生活改善推進協議会に入会する権利を持つ。				
	現状と背景 （どうして）	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	食に運動健康に関する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。講座を修了（所定の内容を学習）した人は食生活改善推進協議会に入会する権利を取得する。			
	手段・方法 （どうやって）	年間計画を企画し広報、ピーナチャンネル、ホームページ、新聞、その他様々なところにチラシ配布して募集、食事・健康に関する話や体験をしたり、調理実習、試食を行う。また食品の衛生管理・遺伝子組み換えなど食品への知識を深めるために、食品工場への視察研修を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	6
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	120

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	87,333	85,488	80,674	92,161	94,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円		13,000	9,000	9,000	
地方債	円					
その他特定財源	円	64,669	63,684	60,977	70,794	72,000
一般財源	円	22,664	8,804	10,697	12,367	22,000
職員数	人					
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00
活動指標	教室実施回数	目標	9	6	6	6
		実績	9	6	6	6
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
成果指標	教室参加者数	目標	180	120	120	120
		実績	92	97	140	138
	達成率	51.11	80.83	116.67	115.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
備考	H24 健康づくり事業 決算額 489,733円 H27年度から、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更した。					

事務事業名	食生活改善推進員養成事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030223
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	講座の内容の検討をし、参加者を募集する。 第1回講座を実施する。	24名の受講希望者があり、定員に達した。 第1回おいしく・楽しく健康講座を開催した。	全員が修了証が取得できるよう、魅力ある教室運営をしていく。
第2期	健康に過ごすための食事のとり方、運動の方法、病態について楽しく学習できるようにする。	3回の講座を開催し、メタボリックシンドロームについて、脂質異常症についての病態、運動、栄養の摂り方について学んでいた。	生活習慣病の予防について理解し、実践できるよう援助する。 全員が修了証を取得できるよう援助する。
第3期	10月、12月の2回の講座を終了し、修了証を全員が取得できるようにする。	第5回、6回の講座を開催し、23人中20名が終了した。食生活改善推進協議会入会は10名だった。	修了証を取得できなかった参加者のフォローを行う
第4期	今年度の反省をし、次年度の計画を立てる	次年度の計画を立て、講師依頼、広報掲載依頼を行った。	次年度に向け、多くの参加希望者が得られるよう、内容の検討と、PR方法を検討する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 出席率90%以上で、熱心に受講している。受講生が求めていることに応えられるよう、意見を聞きながら、講座内容を検討していく必要がある。 受講生の調理技術の差が大きいため、技術が未熟なにも理解できるよう、丁寧にゆっくり学べるよう配慮する必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	講座の参加者、食生活改善推進協議会の入会者が、昨年度より増加した。 講座の内容について、より参加者の満足度を上げることができるようにしていく。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	B	前年度評価シート整理番号 04030106

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
この講座は健康講座であると同時に食生活改善推進協議会の養成講座である。今年度の参加希望者は定員に達した。規定の単位を受講して80%が修了し、食生活改善推進協議会へ入会を希望する参加者は10名と多かった。今後も元気もりもりプランの推進のための食育ボランティア団体で活躍できる人材を育成するため、実施していきたい。	H27年度から時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更した。参加人数が増え、参加者に好評でほとんどの方が修了証が取得できた。食生活改善推進協議会に入会する人も多かった。元気もりもり食育プラン推進のため、食育ボランティア団体で活躍できる人材育成が必要なので、講座参加者や食生活改善推進協議会への入会者を増やしていけるように講座を実施していくことが必要である。	
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止
参加者募集をピーナチャンネルで行う。いろいろな講座、健診等でチラシの配布先を増やす。	②	⑤	⑦	③	⑥	④	⑧	⑩	①	⑨
本年度も午前中、6回の講座とし、参加者を増やせるようにPRする。食生活改善推進協議会の入会者を増やす工夫をしていく。	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度	整理番号	04030203
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 恵
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	04	食育推進計画の推進事業
	予算事業名	食育推進計画推進事業			会計コード	002 款 08 項 02 目 01 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の推進し、市民が健康を維持し、生涯にわたって元気で豊かに生活できるようにする。 第1次計画の成果を検証して、平成30年度から10年間の茅野市食育推進計画を策定する。				
	現状と背景 （どうして）	飽食の時代になり、肥満、やせ、生活習慣病、低栄養によるイレウスなど偏った食生活を原因とする病気や介護状態になる人が増加している。また、核家族化や家族そろっての食事をする機会が減り、食文化の伝承や食事のマナーを知る機会が減少している。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	受益者 （誰のために）	市民が生涯にわたって健康を維持し、最後まで元気で豊かな生活を送る。		
	手段・方法 （どうやって）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会配布等しながらPRし、啓発していく。 健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、がん検診に合わせて、望ましい食生活のPRや、地場産食材のPRを行い、食生活の実践に結び付けよう推進する。 病気の発症予防、介護予防のためには、若い世代からの食育が重要である。20～40代の世代に食の大切さを訴える手段として、エコー検診や小中学校の保護者に食の大切さを呼びかける活動をしていく。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		第2次茅野市食育推進計画の策定	食育推進計画策定会議の開催	回	課内、庁内、市民策定会議	25
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数	15
		栄養マンパペットの活用数	パペット活用回数	回	パペット活用回数	50
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		第2次食育推進計画の完成	計画の冊子の完成	回	計画冊子650冊	650
食生活に関心を持ち、健康意識を高める。		講演会参加人数	人	参加人数	240	

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	392,340	428,036	219,710	237,610	444,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円	130,481	120,000	54,000	61,000		
地方債	円						
その他特定財源	円	227,031	302,343	165,710	182,519		
一般財源	円	34,828	5,693		-5,909	444,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.60		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.50	0.50	0.50	0.60		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	7.00	8.00	4.00	4.00	8.00	
D O （ ）	活動指標	食育推進計画策定会議の開催	目標実績	回		25	
		達成率	%			37	
	食育イベント参加関係機関数	目標実績	団体		12	14	15
		達成率	%		100.00	107.14	100.00
	パペット活用回数	目標実績	回		40	40	45
		達成率	%		95.00	107.50	126.67
成果指標	計画冊子の完成	目標実績	人			650	
		達成率	%			115.38	
	講演会参加人数	目標実績	人			240	
		達成率	%			104.17	
備考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。 H27決算額1,423,607円（一般財源769,093円） H29から活動指標、成果指標変更						

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030203
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第2次食育推進計画策定委員会を開催する。食育講演会&講演会の日程と講師を決定する。エコ検診で、食育PR(野菜たっぷり)をする。	第1回食育推進計画策定委員会を開催した。食育イベント&講演会の日程と、講師の選定を行った。	第2回食育推進計画策定委員会に向けて、素案作成のため、各団体との会議を開催する必要がある。食育推進委員会を開催し、情報交換とイベント、講師について決めていく必要がある。
第2期	食育推進計画策定委員会を開催し、目標の検討、具体的な方策と数値目標を設定する。食育イベント&講演会の準備会を開催する。	食育推進委員会を開催し、各団体の情報交換と食育計画について協議した。食育推進計画策定委員会を2回開催し、素案を協議した。食育イベント&講演会準備会を開催した。	食育推進計画策定委員会を開催し、計画書を仕上げ、パブリックコメントの準備をする。しょくいくべんと&講演会を開催し、食育について考える場を提供する。
第3期	食育推進計画を地域経営会議にかけ、パブリックコメントの募集をする。食育イベント&講演会を開催する。	食育イベント&講演会を開催した。食育計画の理事者協議をしていただいた。パブリックコメント実施の準備をした。	食育計画案をパブリックコメント、議会全員協議会で協議してもらう。食育イベントの反省会を開催し、次年度の計画を立てる。
第4期	食育推進計画を完成し、計画書、概要版を作成する。	食育推進計画を、パブリックコメント、議会、地域福祉審議会にかけ、決定した。概要版、計画書の作成をした。	次年度の計画を立て、第2次食育推進計画の推進をしていく。食育推進委員会の委員の選定を行う。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 拡 充 後 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
第2次茅野市食育推進計画素案の策定を行ったが、第5次市民プランが、策定中であるため、今後変更する必要がある可能性がある。	
食育イベント&講演会を魅力あるものにし、多くの人に来場してもらえるよう工夫する必要がある。	
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	
第2次食育推進計画を推進するため、子育て世代に茅野産食材や郷土料理を紹介する取り組みや、生活習慣病の重症化予防のための病態講座を開催し、望ましい食生活のできる人を増やしていく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3					4	B
課題	食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか、家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心のない方にどのようにしたらよいかが課題である。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020123															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。高校生への食育（家庭科での調理実習）が定着した。	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。高校生への食育（家庭科での調理実習）が定着した。									
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 成 果 拡 充 後 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①					レ				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	
「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。また、食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。また、食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。										

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030203
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 恵		連絡先	330	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	01	食育の促進と食の啓発								
				事務事業	04	食育推進計画の推進事業								
	予算事業名	食育推進計画推進事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）を推進し、市民が健康を保持し、生涯にわたって元気で豊かに生活できるようにする。 第1次茅野市食育推進計画の成果を検証し、平成30年度から10年計画の第2次茅野市食育推進計画を策定する。												
	現状と背景 （どうして）	近年、生活様式の多様化により、生活習慣の乱れや生活習慣病の増加などが指摘されている。こうした中、生涯に渡って健全な食生活が実践できるよう、更なる取り組みを進めるため、国では平成17年に「食育基本法」が制定され、茅野市に於いても「食育推進計画」を推進する。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
		意図 （どんな状態にしたいか）	家庭を中心とした自分、家族の健康の維持、増進											
	手段・方法 （どうやって）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会配布等しながら、PRし、啓発していく。 健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、がん検診に合わせて、望ましい食生活のPRや地場産食材のPRを行い、食生活への実践に結び付くよう推進する。 病気の発症予防、介護予防のためには、若い世代からの食育が重要である。20代～40代の世代に食の大切さを訴える手段として、エコー健診や、小中学校の保護者に食の大切さを呼びかける活動をしていく。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		第2次食育推進計画の策定	食育推進計画策定会議の開催	回	課内会議、庁内会議、策定会議					25				
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数					15				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		第2次食育推進計画の完成	計画書冊子の完成	冊	計画書冊子650冊					650				
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	講演会参加人数	人	参加人数					240				

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円	797,457	781,093	1,405,164	1,396,371
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	797,457	781,093	1,405,164	1,396,371	544,000	
	正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.60		
	嘱託職員 臨時職員	人						
D （ ）	合計	人	0.50	0.50	0.50	0.60		
	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	14.00	14.00	25.00	25.00	10.00	
	活動指標	食育推進計画策定会議の開催	目標	回				25
			実績	回				37
		達成率	%	-	-	-	148.00	-
		食育イベント参加関係機関数	目標	団体	12	14	15	15
実績			団体	12	15	15	13	15
達成率		%	100.00	107.14	100.00	86.67	100.00	
パペット活用回数	目標	回	40	40	45	50	50	
	実績	回	38	43	57	57	50	
達成率	%	95.00	107.50	126.67	114.00	100.00		
成果指標	計画書冊子の完成	目標	冊				650	
		実績	冊				750	
	達成率	%	-	-	-	115.38	-	
	講演会参加人数	目標	人				240	250
実績		人				250	250	
達成率	%	-	-	-	104.17	100.00		
備考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。 H27決算額1,423,607円（一般財源769,093円） H29から活動指標、成果指標変更							

事務事業名	食育推進計画推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030203
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第2次食育推進計画策定委員会を開催する。食育イベント&講演会の講師を決定する。エコー健診で、食育PR(野菜たっぷり)をする。	第1回食育推進計画策定委員会を開催した。食育イベント&講演会の日程と、講師の選定を行った。	第2回食育推進計画策定委員会に向けて、提案作成のため、各団体との会議を開催する必要がある。食育推進委員会を開催し、情報交換とイベント、講師について決めていく必要がある。
第2期	食育推進計画策定委員会を開催し目標の検討、具体的な方策と数値目標を設定する。食育イベント&講演会の準備会を開催する。	食育推進委員会を開催し、各団体の推進状況等情報交換と今年度の計画について協議した。食育推進計画策定委員会を2回開催し素案を協議した。食育イベント準備会を開催した。	食育推進計画を仕上げ、パブリックコメントに上げられるよう準備する。食育イベント&講演会を開催し、多くの参加者が食育を考える場を提供する。
第3期	食育推進計画を地域経営会議にかけ、パブリックコメントの募集をする。食育イベント&講演会を開催する。	食育イベント&講演会を開催した。食育計画の理事者協議をしていただいた。パブリックコメント実施の準備をした。	食育計画案をパブリックコメント、議会全員協議会で協議してもらう。食育イベントの反省会を開催し、次年度の計画を立てる。
第4期	食育推進計画を完成し、計画書、概要版を作成する。	食育推進計画を、パブリックコメント、議会、地域福祉審議会にかけ、決定した。概要版、計画書の作成をした。	次年度の計画を立て、第2次食育推進計画の推進をしていく。食育推進委員会の委員の選定を行う。

事 中 評 価																															
<p>当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化</p> <p>第2次茅野市食育推進計画素案の策定を行ったが、第5次市民プランが、策定中であるため、今後変更する必要がある可能性がある。</p> <p>食育イベント&amp;講演会を魅力あるものにし、多くの人に来場してもらえるよう工夫する必要がある。</p> <p>新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)</p> <p>第2次食育推進計画を推進するため、子育て世代に茅野産食材や郷土料理を紹介する取り組みや、生活習慣病の重症化予防のための病態講座を開催し、望ましい食生活のできる人を増やしていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>向 性</td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向</td> <td>性</td> <td></td> <td colspan="3">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>	今	成 果	拡 充	②	⑤	⑦	後	の	現 状 維 持	③	⑥	⑨	の	方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	方	向 性	休 廃 止	①			向	性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
今	成 果	拡 充	②	⑤	⑦																										
後	の	現 状 維 持	③	⑥	⑨																										
の	方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩																										
方	向 性	休 廃 止	①																												
向	性		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																												

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3					4	B
課題	<p>食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか。家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心の薄い20代、30代の若者にどのようにPRしたらよいかが課題である。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020105															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	<p>「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。高校生への食育(家庭科での調理実習)が定着した。</p>	<p>「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。高校生への食育(家庭科での調理実習)が定着した。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																																																																					
	<p>「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。</p>	<p>「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。</p>																																																																									
<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>レ</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td></td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td></td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性</td> <td>性</td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> <td></td> </tr> </table>	今	成 果	拡 充	②	⑤	レ	⑦	後	の	現 状 維 持	③	⑥		⑨	の	方 向 性	縮 小	④	⑧		⑩	方 向 性	性	休 廃 止	①				性			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>方 向 性</td> <td>性</td> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> <td></td> </tr> </table>					今	成 果	拡 充			レ		後	の	現 状 維 持					の	方 向 性	縮 小					方 向 性	性	休 廃 止					性			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
今	成 果	拡 充	②	⑤	レ	⑦																																																																					
後	の	現 状 維 持	③	⑥		⑨																																																																					
の	方 向 性	縮 小	④	⑧		⑩																																																																					
方 向 性	性	休 廃 止	①																																																																								
性			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																																																								
今	成 果	拡 充			レ																																																																						
後	の	現 状 維 持																																																																									
の	方 向 性	縮 小																																																																									
方 向 性	性	休 廃 止																																																																									
性			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																																																								

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名		運動習慣づくり事業（国保）			事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	04030103																																							
担当部署		健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井 由香	連絡先	330																																								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり																																										
			施策	05	第5節 健康づくりの推進																																											
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援																																											
			事務事業	01	健康づくり事業																																											
予 算 事 業 名	茅野市健康づくり事業費					会計コード	002	款	08	項	02	目	01	事業	01																																	
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	ウォーキングのつどいを開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。																																															
現 状 と 背 景 (どうして)	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。																																															
目 的	対 象 (誰のために)	市民																																														
	対 象 (直接働きかける)	同上																																														
	意 図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。																																														
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置																																															
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">評 価 指 標 の 作 成</td> <td rowspan="4">活動指標</td> <td>行政活動の結果からつくりだすものは何？</td> <td>指 標 名 称</td> <td>単 位</td> <td>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td>ウォーキングのつどい等開催回数</td> <td>開催回数</td> <td>回</td> <td>開催回数合計</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ウォーキングのマップの作成</td> <td>作成箇所</td> <td>箇所</td> <td>作成箇所数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ウォーキングコースの看板設置</td> <td>設置場所</td> <td>箇所</td> <td>看板設置箇所</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成 果 指 標</td> <td rowspan="2">成果指標</td> <td>成果・効果は何？</td> <td>指 標 名 称</td> <td>単 位</td> <td>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td>定期的な運動習慣のある人の増加</td> <td>実施者の割合</td> <td>%</td> <td>定期的な運動習慣がある人の割合</td> <td>60</td> </tr> </table>															評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計	1	ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数	2	ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所	1	成 果 指 標	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																										
		ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計	1																																										
		ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数	2																																										
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所	1																																										
成 果 指 標	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																										
		定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合	60																																										

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	112,636	68,478	65,432	53,484	102,200	
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	84,033	65,998	49,305	41,083	23,847	
職 員 数	一般財源	28,603	2,480	16,127	12,401	78,353	
	正規職員	0.34	0.34	0.34	0.34		
	嘱託職員						
	臨時職員						
合 計		0.34	0.34	0.34	0.34		
対 象 ( 者 ) 数	人						
延 利 用 ( 者 ) 数 (b)	人						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	2.00	1.00	1.00	1.00	2.00	
活 動 指 標	開催回数	目標	回	1	1	1	1
		実績	回	1	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	作成箇所	目標	箇所				
		実績	箇所				
	達成率	%	-	-	-	-	-
設置場所	目標	箇所					
	実績	箇所					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	実施者の割合	目標	%	60	60	60	
		実績	%	40	40	40	
	達成率	%	66.67	66.67	66.67	66.67	
-	目標	-					
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備 考							

事務事業名	運動習慣づくり事業（国保）	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	04030103
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先 330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ウォーキングのつどいの開催内容の検討	前回反省を踏まえ日程及び内容の協議を行った	効果的な周知活動を行っていく必要がある。
第2期	ウォーキングマップ増刷	ウォーキングマップ6コースを増刷した。	ウォーキングマップPDFデータが印刷用ではないため、今後増刷するにはデータ作成から行う必要がある。
第3期	ウォーキングのつどいの開催	インターバル速歩の体験を行った。	来年度のウォーキングイベントについて検討していく。
第4期	ウォーキングマップの周知活動を行う	ウォーキングマップの紹介と、ウォーキングを勧めるチラシを保健指導員研修会等で配布した。	効果的な周知活動を行っていく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 イベントに参加する市民が少ないため、広報活動を見直す必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な運動習慣のない人が半数以上います。</li> <li>最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。</li> </ul>	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 04020107	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングマップの増刷6コースを行いました。</li> <li>イベント以外でもウォーキングを市民に勧める活動を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングマップの増刷6コースを行いました。</li> <li>イベント以外でもウォーキングを市民に勧める活動を行いました。</li> </ul>
前年度改革・改善策の実施状況 実施済	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充	② ⑤ ⑦
	現 状 維 持	③ ⑥ ⑨
	縮 小	④ ⑧ ⑩
	休 廃 止	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。</li> <li>今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。</li> <li>ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。</li> <li>今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。</li> <li>ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。</li> </ul>
-------------	--	--

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~ 年度	整理番号	04030103
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井 由香
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 01 健康づくり事業			
	予算事業名	運動習慣づくり事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 07		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ウォーキングのつどいを開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。			
	手段・方法 （どうやって）	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計	1
		ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数	2
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合	60

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	1,232,136	896,196	85,752	185,439	290,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	1,232,136	896,196	85,752	185,439	290,000	
職員数	人	0.34	0.34	0.34	0.34		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.34	0.34	0.34	0.34		
対象（者）数	人						
延利用（者）数 (b)	人						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	22.00	16.00	2.00	3.00	5.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	1	1	1
			実績	回	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	作成箇所	目標	箇所				
		実績	箇所				
		達成率	%	-	-	-	-
設置場所	目標	箇所					
	実績	箇所					
	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	60	60
			実績	%	40	40	40
		達成率	%	66.67	66.67	66.67	
	-	目標	-				
実績		-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	04030103
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先 330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ウォーキングのつどいの開催内容の検討	前回反省を踏まえ日程及び内容の協議を行った	効果的な周知活動を行っていく必要がある。
第2期	ウォーキングマップ増刷	ウォーキングマップ6コースを増刷した。	ウォーキングマップPDFデータが印刷用ではないため、今後増刷するにはデータ作成から行う必要がある。
第3期	ウォーキングのつどいの開催	インターバル速歩の体験を行った。	来年度のウォーキングイベントについて検討していく。
第4期	ウォーキングマップの周知活動を行う	ウォーキングマップの紹介と、ウォーキングを勧めるチラシを保健指導員研修会等で配布した。	効果的な周知活動を行っていく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 イベントに参加する市民が少ないため、広報活動を見直す必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な運動習慣のない人が半数以上います。</li> <li>最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。</li> </ul>	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
	前年度評価シート整理番号	03020107

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングマップの増刷6コースを行いました。</li> <li>イベント以外でもウォーキングを市民に勧める活動を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングマップの増刷6コースを行いました。</li> <li>イベント以外でもウォーキングを市民に勧める活動を行いました。</li> </ul>
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
前年度細施策評価における今後の方向性	

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 の 方 向 性	拡 充 ② 現 状 維 持 ③ 縮 小 ④ 休 廃 止 ①	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。</li> <li>今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。</li> <li>ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。</li> <li>今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。</li> <li>ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。</li> </ul>
-------------	--	--

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	健康づくりのつどい事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030109
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井 由香
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 -			
	予算事業名	健康づくりのつどい事業		会計コード 002 款 08 項 02 目 01 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	各団体による展示発表、体験コーナー、健康に関する相談コーナーを通じて健康について啓発をする。				
	現状と背景 （どうして）	健康について関心のある人もない人も、健康への関心を高めてもらう。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民		
			対象 （直接働きかける）	同上		
		意図 （どんな状態にしたいか）	市民の皆さんへ健康について啓発をし、自分や家族の健康への関心を高めてもらうきっかけをつくってもらう。			
	手段・方法 （どうやって）	各団体による展示発表、体験コーナー、健康に関する相談コーナーを通じて健康について啓発をする。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康づくりのつどいの開催	開催回数	回	イベントの開催	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康づくりのつどい参加者	参加人数	人	イベントへの参加	500

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	327,485	289,453	287,940	274,641	330,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円	52,806	54,000	62,000	47,000		
地方債	円						
その他特定財源	円	202,236	215,624	217,636	210,966	253,000	
一般財源	円	72,443	19,829	8,304	16,675	77,000	
職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	6.00	5.00	5.00	5.00	13.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	1	1	1
			実績	回	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	参加人数	目標	人	650	650	500
			実績	人	550	450	500
	達成率	%	84.62	69.23	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	健康づくりのつどい事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030109
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事前準備、開催日当日等スムーズに開催できるよう、各団体の代表者による準備会を開催。	準備会を開催。 事業計画、必要物品の確認を行った。	特になし。
第2期	開催に向けて、落ちの無いように準備をし多くの市民に参加していただく。	8/27開催。 参加者約500名は目標に達し、盛大に開催することができた。	次回開催に活かすため、各団体から反省やご意見を伺う。
第3期	反省会を開催し、事業評価を行う。	反省会を開催し、次回につながるよう報告書をまとめた。	反省事項を次回につなげること。
第4期	次回開催に向けた準備。反省事項の精査。	次回開催に向けた準備としての反省事項の確認。会場が変更になるため、どのように開催するかを検討を行った。	会場が変わるため、各団体との綿密な打合せが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	開催場所、開催時期、3団体合同での開催。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03020136	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
内容も充実し、多くの市民に参加していただき好評を得ている。	内容も充実し、多くの市民に参加していただき好評を得ている。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性 拡 充	② ⑤ ⑦
	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持	③ ⑥ ⑨
	成 果 の 方 向 性 縮 小	④ ⑧ ⑩
	成 果 の 方 向 性 休 廃 止	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
	より市民に健康について関心を高めてもらうように、発表内容の充実を図る。	より市民に健康について関心を高めてもらうように、発表内容の充実を図る。

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	04060104
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 03 介護予防教室事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。				
	現状と背景 （どうして）	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	ちの・米沢・中大塩地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者			
		対象	同上			
		意図	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。			
	手段・方法 （どうやって）	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室（月1回）×12区	134
		介護予防教室（委託）の参加人数	参加人数	回		650
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
対象者の教室参加率		参加率	%	各地区の（教室参加者数（延）÷対象地区の高齢者数（延）の10%×100）	80	

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	18.00	
活動指標	開催回数	目標	156	156	137	134	133
		実績	156	137	139	133	133
	達成率	%	100.00	87.82	101.46	99.25	100.00
	参加人数	目標	650	650	650	650	650
実績		780	608	672	598	650	
	達成率	%	120.00	93.54	103.38	92.00	100.00
成果指標	参加率	目標	80	80	80	80	80
		実績	80	80	80	80	80
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	#VALUE!	-	-	-	
備考							

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	04060104
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先 82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	足腰お達者教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区 合計:33回実施	事業継続
第2期	足腰お達者教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区 合計:34回実施	事業継続
第3期	足腰お達者教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区 合計:35回実施	事業継続
第4期	足腰お達者教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区 合計:32回実施	事業継続

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定										
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定											
チェック					4										レ					3										4	B

課 題	教室の開催により、近所の人を誘いあっていただけただけで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須であるが、地区によっては役員の負担感が強く縮小傾向になっている地区もある。今後は地区の実情も踏まえ長く続けられるような配慮も必要と思われる。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
		前年度評価シート整理番号 03060106

総 合 評 価	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることによるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。	将来介護状態にならないために、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、地区の特色を掴みながら地区お達者教室を実施してきた。実施困難となった地区が出てきたことから、今後サービスセンター職員に限られた人員の中でどのように実施していけばよいか、地区の特色を考えてどのように実施していくのがよいか、総合事業との取り組みを含めて考えていく必要がある。
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持			
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小			
	休 廃 止	①						休 廃 止			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

改革・改善策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることによるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。	より多くの方が介護状態にならないように進めていくために、教室に参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要。また、実施地区を増やしていきたいが実施困難となった地区が出てきたことから、サービスセンターに限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防担当課と協議していきたい。
--------	--	---

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	齋藤 明美
---------	------------	---------	-----------------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	乳幼児健診事業（国保）	事業期間	平成 28年度 ~ 29年度	整理番号	04030216
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
	予算事業名	2歳児歯科検診事業費		会計コード 002 款 08 項 02 目 02 事業 01		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	4か月児…内科健診、整形外科健診、集団指導（生活リズム・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 10か月児…内科健診、集団指導（生活リズム・歯科・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児…内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児…歯科健診、歯科指導、集団指導（生活リズム、歯科、食事指導）、発達発育確認、個別相談、言語相談 3歳児…内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検				
	現状と背景 （どうして）	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者			
		受益者 （誰のために）	市民			
	手段・方法 （どうやって）	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できるの場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。				
		4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数（4、10、1.6、2、3歳児健診）	実施回数	回	年間計画による実施回数	96
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	1,023,788	903,902	965,116	974,712	1,469,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円	202,386	160,000	158,000	153,000		
地方債	円						
その他特定財源	円	604,761	673,346	729,461	748,718	342,000	
一般財源	円	216,641	70,556	77,655	72,994	1,127,000	
職員数							
正規職員	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	18.00	16.00	17.00	18.00	176.00	
D （ ）	活動指標	実施回数	目標	96	96	96	96
			実績	96	96	96	96
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	-	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	う歯を保有していない比率	目標	85	85	85	85
			実績	89	84	84	89
	達成率	104.71	98.82	98.82	105.18	100.00	
	健診受診率	目標	98	98	98	98	98
実績		99	98	98	99	98	
達成率	101.02	100.00	100.00	100.71	100.00		
備考	H26年度から乳幼児健診事業と歯科指導事業（国保会計）を統合 25年度決算額7,961,685円（一般財源6,896,454円）						

事務事業名	乳幼児健診事業（国保）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030216
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診の内容・進捗の仕方について振り返りを行い、課題、改善点を明確にする。保健師の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続する。	母子検討会を活用し、再検の案内方法について振り返り、改善していくことになっている。巡回相談を活用し、問診項目への理解を深める機会を設けた。	職員の配置が変化したため、健診内容・進捗の仕方について振り返りを行い、課題、改善点を明確にすることを目標とする。
第2期	健診がスムーズに行えるように方法を検討する。	人員の調整により、健診の進行方法を変更した。健診後のカンファレンスの内容を振り返った。	感染症が流行したため、感染予防対策を徹底する。
第3期	乳幼児健診を受診した乳幼児が感染症にかからないように、感染予防対策を行う。	問診道具の交換、タオルの洗濯、手指アルコールの使用、オリエンテーション時の案内等、新たに実施し、感染予防対策を行った。	継続して、感染予防対策を行う。集団指導の内容を検討していく。
第4期	保護者が分かりやすく、必要な情報を集団指導できるように検討する。	月齢に合わせた試供品を利用し、分かりやすい説明を行うことができた。	今後も月齢に合わせた分かりやすい説明を行う。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 茅野市内でノロウィルスの感染が流行したため、感染予防対策を再確認し、対策を行う必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 平成30年度9月から、言語聴覚士を諏訪中央病院リハビリテーション科へ依頼することとなり、予算が要求が変わる。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	今後も健診の内容・進捗の仕方について振り返りを行い、改善策について検討していく。保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。	健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。									
前年度改革・改善策の実施状況	—					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。					今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	乳幼児健診事業	事業期間	平成 29 ~ 年度	整理番号	04030216
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	乳幼児健診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	4か月児…内科健診、整形外科健診、集団指導（生活リズム・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 10か月児…内科健診、集団指導（生活リズム・歯科・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児…内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児…歯科健診、歯科指導、集団指導（生活リズム、歯科、食事指導）、発達発育確認、個別相談、言語相談 3歳児…内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検査				
	現状と背景 （どうして）	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者			
	手段・方法 （どうやって）	意図	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できるの場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。			
		受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者			
		意図 （どんな状態にしたいか）	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できるの場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。			
		手段・方法 （どうやって）	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。			
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数（4、10、1.6、2、3歳児健診）	実施回数	回	年間計画による実施回数	96
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円	6,328,010	6,623,580	6,891,585	6,790,495	7,623,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	6,328,010	6,623,580	6,891,585	6,790,495	7,623,000
	職員数						
	正規職員	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	113.00	118.00	124.00	122.00	287.00	
D O （ ）	活動指標	実施回数	目標	96	96	96	96
			実績	96	96	96	96
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	う歯を保有していない比率	目標	90	85	85	85
実績			83	89	84	89	
達成率		%	92.56	104.71	98.82	105.18	
健診受診率		目標	98	98	98	98	
	実績	97	99	98	99		
達成率	%	98.98	101.02	100.00	100.71		
備考	H26年度から乳幼児健診事業と歯科指導事業（国保会計）を統合 25年度決算額7,961,685円（一般財源6,896,454円）						

事務事業名	乳幼児健診事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030216
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診の内容・進行の仕方について振り返りを行い、課題、改善点を明確にする。保健師の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続する。	母子検討会を活用し、再検の案内方法について振り返りし、改善していくことになっている。巡回相談を活用し、問診項目への理解を深める機会を設けた。	職員の配置が変化したため、健診内容・進行の仕方について振り返りを行い、課題、改善点を明確にすることを目標とする。
第2期	健診がスムーズに行えるように方法を検討する。	人員の調整により、健診の進行方法を変更した。健診後のカンファレンスの内容を振り返った。	感染症が流行したため、感染予防対策を徹底する。
第3期	乳幼児健診を受診した乳幼児が感染症にかからないように、感染症予防対策を行う。	問診道具の交換、タオルの洗濯、手指アルコールの使用、オリエンテーション時の案内等、新たに実施し、感染症予防対策を行った。	継続して、感染症予防対策を行う。集団指導の内容を検討していく。
第4期	保護者が分かりやすく、必要な情報を集団指導できるように検討する。	月齢に合わせた試供品を利用し、分かりやすい説明を行うことができた。	今後も月齢に合わせた分かりやすい説明を行う。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 茅野市内でノロウィルスの感染が流行したため、感染予防対策を再確認し、対策を行う必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 平成30年度9月から、言語聴覚士を諏訪中央病院リハビリテーション科へ依頼することとなり、予算が要求が変わる。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	今後も健診の内容・進行の仕方について振り返りを行い、改善策について検討していく。保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020111															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。	健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。									
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性					② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①	成 果 の 方 向 性				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	今後も健診内容について振り返りを行い改善策を検討していく。					今後も健診内容について振り返りを行い改善策を検討していく。					

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	歯科検診事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030106
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	03	歯科保健事業の充実								
				事務事業	02	歯科健診事業								
	予算事業名	歯科健診事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30～60歳の5歳刻みの年齢の方を対象に歯周疾患検診を行い歯周疾患の早期発見、早期治療につなげる。また、歯周疾患が悪化することによる身体への影響（循環器疾患、糖尿病、肺炎）を予防する。</li> <li>・20歳になる人に市内の指定医療機関で歯科健診を実施する。</li> </ul>												
	現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周疾患が増加している。早期発見することで治療費・治療期間が短くなる。</li> <li>・学生の時は歯科健診があるが、卒業するとその機会がなくなり歯科保健についての関心が薄れる。歯周病は、歯の喪失にとどまらず、全身疾患（狭心症、心筋梗塞、糖尿病等）を引き起こす原因になることがある疾患のため、生涯にわたって歯</li> </ul>												
	目的	受益者 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	市民（30～60歳の5歳刻みの年齢の方、20歳の年齢の方）											
		意図 （どんな状態にしたいか）	検診を受け早期発見、治療につなげる。若いうちから歯周疾患にならないための予防をしていくためのきっかけづくりにする。											
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診対象者全員に個別通知する。今年度40・50・60歳になる方には検診無料券を同封する。</li> <li>・歯周疾患検診、20歳の歯科健診を指定歯科医療機関で実施する。</li> <li>・受診者を増やすため、受診勧奨をする。</li> </ul>												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		活動指標	歯科検診受診の推進	検診受診者数	人						480			
			20歳の歯科健診の推進	20歳の歯科健診受診者数	人						100			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
			歯周疾患患者の減少	異常なし者率	%	異常なし者÷検診受診者					35			
			20歳の歯科検診受診率の向上	20歳歯科健診受診率	%	受診者数÷検診対象者					30			

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	1,124,416	897,007	1,443,245
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円	249,000	309,680	540,000	303,000	392,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	875,416	587,327	903,245	1,533,708	1,431,000
	正規職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
	嘱託職員 臨時職員	人					
	合計	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	20.00	16.00	26.00	33.00	53.00
	活 動 指 標	検診受診者数	目標	450	450	450	470
実績			456	358	364	515	520
達成率		%	101.33	79.56	80.89	109.57	110.64
20歳の歯科健診受診者数		目標			100	100	100
		実績			87	86	90
達成率		%	—	—	87.00	86.00	90.00
—	目標						
	実績						
達成率	%	—	—	—	—	—	
成 果 指 標	異常なし者率	目標	%	35	35	35	35
		実績	%	16	11	18	11
	達成率	%	45.71	32.57	51.43	31.14	31.43
	20歳歯科健診受診率	目標	%			30	30
実績		%			16	16	
達成率	%	—	—	53.33	53.67	54.67	
備 考	対象者数は歯周疾患検診 歯周疾患検診受診率 H28 7.6%、H29 10.9% 20歳の歯科検診事業を歯科健診事業へ統合						

事務事業名	歯科検診事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030106
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者に案内通知を発送する。医療機関への説明・契約を行う。広報掲載で検診の周知を行う。20歳前後から生えてくる「親知らず」の状態や、歯・顎の骨などの全体の様子を知ることができ	4, 5, 6月に対象者に検診票の発送を行った。(対象者4,761人)5月号の広報ちのにも掲載し、PRを行った。20歳対象者に検診票の発送を行った。(対象者535人)	12月まで検診が実施される。H30年2月まで健診を実施する。
第2期	多くの対象者に検診を受けてもらえるよう、PRをする。	受診者数が伸びない。夏休みの時期に合わせて、広報ちのPRをした。	受診者数が伸びない。
第3期	受診動奨ハガキを出し、受診者数を増やす。	40代の未受診者に、受診動奨ハガキを出した。20歳に12月に未受診者に受診動奨ハガキを送った。	受診者515人で、受診者数が増えた。来年度は、受診率維持・向上をする必要がある。
第4期	来年度の実施に向け、通知などを見直し、受診者が増える工夫をする。	広報の内容や、一覧表を見直し、見やすくした。	来年度も、受診者を増やす。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 検診が開始になったが、予想以上に受診者が少ない。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 未受診者に、受診動奨ハガキを送付する。前年と比べ受診率は微増。しかし、受診動奨をした後の受診者数が、全体の受診者の半数以上であったため、効果はあったと思われる。来年度も実施していく。	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課題	受診動奨をしなければ、受診者は減っていた。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号		

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	受診動奨をすることで、受診者が増加した。受診者のうち約9割の人は、要指導・要精密検査となっており、受診を機に口腔衛生に関する知識の普及及び生活習慣の見直し等ができたのではないと思われる。次年度も継続していく。	受診動奨をすることで、受診者が増加した。受診者のうち約9割の人は、要指導・要精密検査となっており、受診を機に口腔衛生に関する知識の普及及び生活習慣の見直し等ができたのではないと思われる。次年度も継続していく。								
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済	前年度細施策評価における今後の方向性								

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	受診者の維持・向上を目指し、検診の周知をしていく。また、歯周疾患予防についても啓蒙していく。	受診者の維持・向上を目指し、検診の周知をしていく。また、歯周疾患予防についても啓蒙していく。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(不妊及び不育治療費助成事業)			事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030213
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	330

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	04	母子保健システムの確立							
				事務事業	01	母子保健事業							
予 算 事 業 名				会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	不妊症により子どもを授かることができない夫婦がいるが、医療技術の進歩により不妊治療を受けることで子どもを授かることができるケースが増えている。 しかし、不妊治療は、1回の治療費が高額である。また、1回では成功しないことも多く何度か繰り返し治療を受けなければならないこともあり、経済的な負担が大きく治療を断念せざるを得ない夫婦がいる。 不妊症に悩む多くの夫婦が不妊治療を受けることができる環境を整えることが必要である。												
現状と背景 (どうして)	不妊治療は、一部の治療を除き保険診療適応外の治療であるため、1回の治療費が高額で経済的負担が大きく治療を受けられない夫婦がいる。また、そのことによる精神的負担も大きい。												
目 対 象	受益者 (誰のために)	不妊症・不育症に悩む夫婦											
	対象 (直接働きかける)	不妊治療を受ける夫婦											
意 図 (どんな状態にしたいか)	不妊治療を受ける夫婦に治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することにより、より多くの夫婦に治療を受ける機会が持てるようにし、不妊に悩む夫婦が子どもを授かることができるようにする。また、一人でも多くの子どもが生まれ、少子化対策の一環となるようにする。												
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	県に不妊治療費に対する助成制度があるが、治療の内容の指定、指定の医療機関、所得制限があるため、県の助成事業の対象にならなかった夫婦に対して不妊治療費の一部を助成する。 助成額：1回の治療費の自己負担額に2分の1を乗じて得た額(10万円(一部5万円)を限度とする。)を助成する。 助成回数：5回を限度とする。 制度の内容をチラシ(医療機関、市の施設)、「広報ちの」にて周知する。												
N 評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	活動指標	制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する				2				
成 果 指 標	成果・効果は何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	治療による出産	出生率	%	治療後の出生数÷助成者×100				50					

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	1,232,551	1,922,418	3,958,000	1,315,987	2,757,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	1,232,551	1,922,418	3,958,000	1,315,987	2,757,000
職員数	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
対象(者)数						
延利用(者)数(b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	22.00	34.00	71.00	24.00	54.00
D 活 動 指 標	広報ちの掲載回数	目標	回	2	2	2
		実績	回	1	2	2
	達成率	%	50.00	100.00	50.00	100.00
O 成 果 指 標	出生率	目標	%	50	50	50
		実績	%	9	7	11
	達成率	%	18.00	13.60	22.00	22.00
備 考	目標					
	実績					
	達成率	%	-	-	-	-

事務事業名	一般経費(不妊及び不育治療費助成事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030213
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事業内容について、スタッフ・住民に周知する。	事業案内用紙をわかりやすいように変更し、産院に配布。スタッフに周知。	スタッフ変更あり、事務手続きに誤りがないように確認していく。
第2期	事務手続きに誤りがない。	広報ちの9月号に掲載。問い合わせ対応。	申請者が昨年の半数以下である。
第3期	事業内容について、住民に周知する。	広報ちの1月号に掲載。問い合わせ対応。	申請者が例年より少ない。
第4期	事務手続きに誤りがない。	配布用の記入例を印刷しやすいようにシート変更し、事務の効率化を図った。担当以外のスタッフにも内容の周知、受付チェックリストの修正。	事務手続き、問い合わせに誤りがないように確認していく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 昨年、例年に比べ、申請者が少ない。1回目の申請数の割合は増加。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 周知活動を行う。	①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	例年に比べ、申請者の減少あり。昨年度より、助成対象の内容の拡大、様式の変更など要綱の一部改正が行われた。変更部分に関して周知をしていくこと、事務の徹底をしていくことが課題である。また、県の事業に対し、費用の上乗せ制度の検討をする。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020131															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	昨年度、制度の変更あり、引き続き周知に努めた。申請者数は前年より減少あったが、1回目の申請者の割合は増加あった。申請手続きに関して手順を確認しつつ、誤りがないようにした。	昨年度、制度の変更あり、引き続き周知に努めた。申請者数は前年より減少あったが、1回目の申請者の割合は増加あった。申請手続きに関して手順を確認しつつ、誤りがないようにした。									
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充				
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ		
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小					
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止					
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために保内で事務手順を確認していく。					今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために保内で事務手順を確認していく。					

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	妊婦一般健康診査事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030212
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	妊婦一般健診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	妊婦届出をした妊婦に対して、妊婦一般健康診査受診票を発行し、産科医療機関受診の際にかかる健診費用を公費負担する。				
	現状と背景 （どうして）	産科における妊婦健康診査は保険適応外であるため、経済的負担が大きい。健診費用を公費負担することによって、早期から胎児、妊婦の健康状態の確認のための健診を受けやすくなる。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	妊婦初期に妊婦届出をしてもらい、妊婦初期から公費により妊婦健康診査を受けられるようにする。胎児や妊婦自身の健康状態の確認や相談ができるようにして、安心して妊娠期を送ってもらい、無事に出産をむかえられる。		
	手段・方法 （どうやって）	各産院に母子健康手帳交付窓口周知の依頼をする。 14回分基本健診（追加健診・超音波健診を含む）受診票を母子健康手帳交付時面接にて産科受診の際に使用していただくよう説明する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		母子健康手帳交付窓口の周知することで妊婦にスムーズに受診券を交付できる	母子健康手帳(妊婦受診票)交付窓口の周知回数	回	各産院への交付窓口周知の依頼した回数	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		妊婦初期から妊婦健診を受けることができる	妊婦届出時期	%	母子健康手帳交付時の妊娠週数15週までの妊婦数/母子手帳交付数（転入を除く）	100

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	47,676,599	51,235,638	53,305,000	43,878,349	52,573,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	47,676,599	51,235,638	53,305,000	43,878,349	52,573,000
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	849.00	915.00	956.00	790.00	963.00
D （ ）	活動指標	母子健康手帳(妊婦受診票)交付窓口の周知回数	目標	実績	達成率	
			1	1	100.00	
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	妊婦届出時期	目標	実績	達成率	
			100	98	97.60	
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
備考						

事務事業名	妊婦一般健康診査事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030212
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	24週での届出あり、こども課と連携し、フォロー体制を整備した。	今後も関連部署と連絡を取り合い、早い段階から対応していく。
第2期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	特定妊婦や関係機関との連携の取り方について情報共有し、必要な妊婦を確実にフォローできるように意識統一した。	今後も母子手帳交付時の面談にて早い時期から支援できるように留意していく。
第3期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	フォロー者用に支援プランを立てやすいように、様式を検討した。	支援プランの様式を、見やすく、記入しやすく、適格な様式にする。
第4期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	フォロー者用に支援プランを立てやすいように、様式を作成した。 20週での届出あり、こども課、担当保健師と連携を取った。	支援プランの様式を、見やすく、必要な方全員に立案することができる。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 他課と連携を密にして、子育て支援を強化していく。	② ③ ④ ① ⑤ ⑥ ⑧ ⑦ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	妊婦健診で所見があった方について出産後のフォローをしていく。妊婦健診受診票発行時のアンケート調査をもとにハイリスク者に早い段階でフォローしていく。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	妊婦健診受診票発行時に妊婦のアンケートや面接内容から、フォローが必要な人を把握する。担当保健師が確実にフォローできるように、他機関と連携していく。また、特定妊婦の考え方、連携の取り方を見直すことができた。来年度の子育て包括支援センター設置に向けて、準備を進められた。	妊婦健診受診票発行時に妊婦のアンケートや面接内容から、フォローが必要な人を把握する。担当保健師が確実にフォローできるように、他機関と連携していく。また、特定妊婦の考え方、連携の取り方を見直すことができた。来年度の子育て包括支援センター設置に向けて、準備を進められた。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充		
方向性	現 状 維 持		③	⑥		⑨	方向性	現 状 維 持			
方向性	縮 小		④	⑧		⑩	方向性	縮 小			
方向性	休 廃 止	①					方向性	休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー	妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー
--	--

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	パパママ講座・赤ちゃん相談事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030214
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	パパママ講座・赤ちゃん相談事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	出産を控える夫婦に対して、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるように講座を開催する。新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる機会を作り、育児支援、仲間づくりの場を提供する。				
	現状と背景 （どうして）	核家族化にともない、新生児に触れる機会なく育児を始める父母や、身近に相談相手が少ない環境の中で育児をしている保護者が多くなっている。妊娠期からを健やかに過ごし、出産、育児の中で出てくる不安や心配ごとなどに対して役立つ場の提供が必要である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者（誰のために） 市民 対象（直接働きかける） 出産を控える夫婦 新生児、乳幼児とその保護者			
	手段・方法 （どうやって）	意図 出産を控える夫婦が、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるようにする。 新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる。 出産を控える夫婦に対し講座を開催。妊娠期の過ごし方や、親になることなどのテーマに沿って専門職からの講義を聴いたり、育児体験をしてもらう。 新生児、乳幼児に対して、身体測定や離乳食、母乳育児、その他の育児相談発達発育の確認や不安に対して相談ができる。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		パパママ講座に参加できる機会をつくる	パパママ講座開催回数	12	年間パパママ講座開催回数	12
	新生児・乳幼児について相談できる場がある	赤ちゃん相談開催回数	24	年間赤ちゃん相談開催回数	24	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	パパママ講座に参加する	パパママ講座参加率	%	パパママ講座参加者÷第1子の出産を迎える夫婦の参加者数	55	

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	589,687	506,554	706,000	647,304	730,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円	3,300	2,350	12,000	3,200	6,000
一般財源	円	586,387	504,204	694,000	644,104	724,000
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	11.00	9.00	13.00	12.00	27.00
活動指標	パパママ講座開催回数	目標	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	赤ちゃん相談開催回数	目標	24	24	24	24
実績		24	24	24	24	
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
成果指標	パパママ講座参加率	目標	%	55	55	55
		実績	%	36	25	21
	達成率	%	65.45	45.45	38.18	45.45
	目標	%	-	-	-	-
実績	%	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	
備考						

事務事業名	パパママ講座・赤ちゃん相談事業			事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030214
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	赤ちゃん相談の受付から相談までの流れを見直し、効果的・効率的な相談ができる。	相談者が多い時は他のスタッフにも協力を得ながら、待ち時間が少ないようにした。	フォロー児に対して、確実にフォローできるように、次の相談事業、健診、訪問に繋げる。
第2期	フォローに上がっている児が赤ちゃん相談に来たり、状況が把握できる。	赤ちゃん相談後にカンファレンスを実施し、来ている児については状況の確認をした。	保健福祉サービスセンターと、フォロー児の情報共有を円滑に行う。
第3期	フォローに上がっている児が赤ちゃん相談に来たり、状況が把握できる。	健康からてにフォロー情報を入力し、連携を図れるように設定・実施した。赤ちゃん相談の助産師を2名に増員し、母乳相談の充実を図った。	パパママ講座で沐浴体験を行っているが、方法が産院により指導内容が様々で、保護者の混乱を招いてしまう。
第4期	パパママ講座内の沐浴方法の検討をする。	関係者で検討し、沐浴体験を茅野市の育児支援紹介に変更。	パパママ講座、赤ちゃん相談の内容の充実をはかる。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	赤ちゃん相談については、助産師を増員し、母乳相談の充実が図れた。今後も気軽に相談できる場所として丁寧な対応に心がけていく。 パパママ講座については、内容を検討・変更した。今後も内容を見直しながら妊娠中に安心して過ごせお産を迎えられようように内容を深めていく。															
	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					
	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。						赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。								
	前年度改革・改善策の実施状況					実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。	成 果 の 方 向 性 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性 拡 充			レ
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。					赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。					

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成 26 ~ 年度	整理番号	04030108
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	作成担当者名	今井 由香	連絡先
		健康総務係			330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	養育医療給付事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 04 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	母子保健法第20条に基づき、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を養育医療として公費により負担します。				
	現状と背景 （どうして）	未熟児は、正常な新生児と比べて生理的に欠陥があり、疾病にも罹患しやすく、その死亡率はきわめて高率であるばかりでなく、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講ずることが必要である。このため、医療を必要とする未熟児に対しては、養育に必要な医療の給付を行う。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	未熟児のうち医師が入院養育を必要と認めた乳児			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	養育に必要な医療の給付を行う			
	手段・方法 （どうやって）	保護者からの申請に基づき給付決定を行い、治療に要する医療費を公費により負担する。 制度の内容を「広報ちの」にて申請窓口や、申請方法を周知する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	1,074,823	3,068,268	2,046,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円	1,674,000	558,000	1,010,000	2,019,273	997,000
	県支出金	円	238,033	613,466	505,000	596,603	498,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円	122,064	572,010		510,160	475,000
職 員 数	一般財源	円	-959,274	1,324,792	531,000	-223,620	508,000
	正規職員	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	19.00	55.00	37.00	52.00	58.00
活 動 指 標	広報ちの掲載回数	目標	2	2	2	1	1
		実績	1	1	1	0	1
	達成率	%	50.00	50.00	50.00	0.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
	目標	-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成 26 ~	年度	整理番号	04030108
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井 由香	連絡先
						330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第2期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第3期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第4期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化特になし。	今 成 拓 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 医療機関などとの連携は密にし、対象者を支援していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B

課 題	制度や申請方法、申請窓口などの周知はこれからも必要であり、行っていく。申請時期は、未熟児を抱え大変な時期と重なるため、できるだけ申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務ができるようにしていく。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03020118

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。					申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拓 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拓 充		
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	・ 広報で申請窓口のお知らせ ・ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。					・ 広報で申請窓口のお知らせ ・ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		親子広場事業		事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030215					
担当部署		健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依	連絡先	330						
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	04	母子保健システムの確立								
				事務事業	01	母子保健事業								
	予算事業名	親子広場事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	乳幼児健診時やその後のフォロー、保護者の希望により、発達、発育等に心配がある親子に対して、集団の遊びを通じて親子関係を豊かにし、児の発達発育を促す。 臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士に直接相談できる機会であり、発達、言語、体の動きについての支援を行う。 発達について専門的な見方での評価が必要な児に対しては、発達相談へお誘いする。 教室参加者の保護者を対象として、保護者向けの子育てスキルアップに関する講座も併せて開催する。												
	現状と背景 （どうして）	児の発達のペースや家庭環境、家族関係などにより、家庭内では十分な関わりが持てなかったり、どの様に関わることが児にとってよいのか等に悩みや心配を持つ保護者が多い。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	乳幼児健診やその他の相談等で発達、発育等を経過的に見ていくことが必要となった入園前の乳幼児											
		受益者 （誰のために）	市民											
		意図	発達、発育が他の児と比べてゆっくりな児に対して、家庭でのやり取りだけでなく、集団の中での遊びを通じて多くの関わりを持つ機会が持て、発達、発育が促していけるような場の提供。											
	手段・方法 （どうやって）	月2～3回の広場(教室)にお誘いし、集団での遊びでのやり取りや専門職への個別相談を通して、その児の特性やペースに応じて発達発育を促していく。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		フォローの場の提供をする	教室開催回数	回	開催予定に対して実施した割合					33				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		お誘いした人に対する参加者の割合	参加率	%	参加者÷教室に誘った人数					158				

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等(a)	円	1,156,535	953,281	1,036,893	1,262,000	1,457,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	2,400	1,000	1,050		3,000	
	一般財源	円	1,154,135	952,281	1,035,843	1,262,000	1,454,000	
	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	21.00	17.00	19.00	23.00	67.00	
O （ ）	活動指標	教室開催回数	目標	31	32	32	33	33
			実績	31	31	31	33	33
		達成率	100.00	96.88	96.88	100.00	100.00	
	—	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—	
	成果指標	参加率	目標	80	80	80	158	80
			実績	73	71	67	128	80
		達成率	91.25	88.63	83.75	81.01	100.00	
	—	—	目標	—	—	—	—	—
実績			—	—	—	—	—	
	達成率	—	—	—	—	—		
備考	目標値を修正							

事務事業名	親子広場事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030215
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	藤森 真依	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	はじめて参加した親子には特に丁寧に丁寧に声掛けをすることで次の参加につなげる。	継続して参加される親子は定着してきている。 参加者59名/お誘いした人数92名＝64.1%	健診でお誘いした人の参加が少ないため、参加されないときは、フォローを確認する。 はじめて参加した親子が今後も参加していただくように継続して声掛けを行っていく。
第2期	教室を誘われてからの不参加者の確認を確実に行う。 初参加者に対して、積極的に声掛けを行う。	不参加者へのフォローをタイムリーにエリアの保健師へ情報提供した。 初参加者に対して声かけを行い継続して参加してくれる参加者がいる。	巡回相談にて親子広場参加者の様子を第三者にみてもらう。 継続して参加したい内容を検討していく。
第3期	巡回相談を有効活用できる場になるように、準備・振り返りを行う。 教室の内容を保育士等と相談し、検討する。	巡回相談時、4名の子どもをみてもらうことができ、事例を通して関わり方など学ぶことができ、実際に関わるときに役に立った。保育士等と相談し、内容を検討し参加者が楽しそうに過ごせていた。	今年度お誘いしたが、未参加の方のフォローを行う。来年度に向けて、参加者の情報を整理する。
第4期	未参加の方のフォロー体制、参加者の情報を整理する。 親子広場参加者へ、来年も参加したいと思えるように声かけをする。	年度末のアンケートで、親子広場に参加して良かった、1・2の親から来年も参加したいと意見をいただけた。	来年度はスタッフが変更のため、安定した関わりができるようにスタッフで情報共有をしていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 スタッフと参加者が顔見知りになり、参加者が参加しやすい雰囲気づくりができてきている。初回参加者へは、継続参加になるように積極的に声をかけていく。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 予算は、巡回相談を市の事業として行うため、発達相談の回数を1回減らす。 来年度はスタッフが変更のため、安定した関わりができるようにスタッフで情報共有をしていく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	参加が途絶えていたり、誘っても1度も参加がない親子について定期的に状況確認が必要である。参加しやすい雰囲気づくり、継続して参加したくなる内容を検討する。その子とその親にあった対応をしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020134															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	参加を待っているばかりでなく、何らかの理由で参加しない親子については状況確認した。参加によって成長がみられる。保育士さんのふれあい遊びが充実した。引き続き参加したいと思ってもらえる教室を目指す。	参加を待っているばかりでなく、何らかの理由で参加しない親子については状況確認した。参加によって成長がみられる。保育士さんのふれあい遊びが充実した。引き続き参加したいと思ってもらえる教室を目指す。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。	参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	産後ケア事業	事業期間	平成 29 ~ 年度	整理番号	04030217
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	産後ケア事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 04 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	出産後自宅に帰っても手伝ってくれる人がいなくて不安、授乳がうまくいかない、赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムがわからないなど、育児やからだの回復に心配のあるお母さんと赤ちゃんの新生活がスムーズにスタートできるよう、医療機関や助産所等で母乳相談や育児相談等が受けられる。 利用券で相談ができる「訪問・相談型」、宿泊して支援を受ける「宿泊型」、日帰りの「通所型」があり、費用の一部を市が負担する事業。				
	現状と背景 （どうして）	近年核家族化や地域のつながりの希薄化等により、妊産婦を支える力が弱くなっている。若い世代は妊娠期から出産、子育ての各時期に不安や不安定なことが多くあり、それらを少しでも解消していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	住民			
		対象 （直接働きかける）	妊産婦と家族			
		意図	全ての妊産婦が安心して妊娠、出産、育児ができるように体制を整備することで、若い世代に「生みたい、育てたい」という意識が高まり、出生数の増加に繋げる。			
	手段・方法 （どうやって）	母子手帳交付時に保健師が妊婦に面接し、悩みを把握し、ニーズに合った情報提供を行う。 新生児訪問時に支援が必要な産婦を把握する。また、医療機関からの情報により、産後間もない母の体調不良や育児不安に対し、医師、助産師、保健師等が①産後の母体管理、②乳房手当、乳房のトラブル、③授乳方法、④沐浴方法⑤発育、発達の観察、⑥体重、排泄の観察、⑦スキンケア、⑧その他必要な育児指導を行う。 産後ケアの形態は①訪問・相談によるもの②宿泊によるもの③通所によるものの3種類を行う。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	新生児の母と家族の安心安定	妊娠届時の事業案内	%	妊娠届時の事業案内数
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		安心して子育てができる母親と利用家族	訪問・通所型利用数	回	訪問・通所型利用件数	75
		通所・宿泊利用数	回	通所・宿泊利用件数	75	

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円				1,434,765	2,077,000	
財源内訳							
国庫支出金	円				742,000	967,000	
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円				692,765	1,110,000	
職員数	人				0.10	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人				0.10	0.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	26.00	51.00	
D （ ）	活動指標	妊娠届時の事業案内	目標	%		100	100
		実績	%		100	100	
	達成率	%	-	-	-	100.00	100.00
	-	目標	-				
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-				
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	訪問・通所型利用数	目標	回		75	500
		実績	%		505	500	
	達成率	%	-	-	-	673.33	100.00
	通所・宿泊利用数	目標	回		75	75	
	実績	%		31	75		
	達成率	%	-	-	41.33	100.00	
備考							

事務事業名	産後ケア事業	事業期間	平成 29 ~	年度	整理番号	04030217	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事業者の受け入れがスムーズにいくように打ち合わせをして、契約をする。 妊婦が妊娠届提出時、窓口で事業案内・周知をする。	始めはわずかであったが、徐々に利用件数が増加。 ホームページに事業内容掲載。	利用券を発行できる人がいないときの対応。 通信運搬費の予算確保なく、予算不足。
第2期	利用券の発行を担当以外のスタッフに周知する。	担当以外に利用券発行方法を周知。 広報ちの9月号に事業内容を掲載。 通信運搬費の予算確保。	転入者への案内が行き届いていないことがあった。
第3期	転入者にも確実に事業案内を行う。	転入者への案内を高齢者・保健課に依頼。 関係者と中間評価会を開催した。 広報ちの1月号に事業内容を掲載。	病院、担当保健師との連携の取り方が明確になっていない。
第4期	関係者の情報共有がスムーズに行え、母子支援を強化する。	病院と担当者の連絡先一覧、母子の連絡票を作成。 他市町村・助産師会と情報交換会実施。 決定通知書・利用券を健康からてより発行準備。	決定通知書・利用券の発券方法の周知。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 転入者に対しての、周知方法の連携が不十分であった。	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 事業開始後の実績により、予算拡大。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4	A					
課題	今年度より開始した事業であるため、十分な周知が必要である。予定より、利用が多かったため、予算拡大していく。病院・助産院に委託しているため、必要時は連携を取り、母子の支援を継続して行えるようにしていく。																				
	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
	前年度総合評価判定 新規事業																				
	前年度評価シート整理番号																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
		事業開始が予定より遅くなってしまったが、徐々に利用件数増加し、安定した利用件数を確保できている。引き続き周知活動し、事業の定着に努める。また、関係機関との連携を取り、継続した子育て支援をしていく。													
	事業開始が予定より遅くなってしまったが、徐々に利用件数増加し、安定した利用件数を確保できている。引き続き周知活動し、事業の定着に努める。また、関係機関との連携を取り、継続した子育て支援をしていく。														
	前年度改革・改善策の実施状況					-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策				
		対象者・家族への周知の継続をし、事業の定着を図る。施設との連携を取り、継続した支援ができる体制を整える。利用数が予想より多かったため、予算拡大する。								
	対象者・家族への周知の継続をし、事業の定着を図る。施設との連携を取り、継続した支援ができる体制を整える。利用数が予想より多かったため、予算拡大する。									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	04060106
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	林 可 奈	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり			
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 02 妊婦・乳幼児訪問事業			
	予算事業名		会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 05			
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問				
	現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	妊産婦・乳幼児とその家族 若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児			
	手段・方法 （どうやって）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。 妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計	140
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数	100

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人				0.30	0.30	
正規職員	人				0.20	0.20	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人				0.50	0.50	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	50.00	
D （ ）	活動指標	訪問指導件数	目標	140	140	140	140
			実績	182	136	131	146
			達成率	130.00	97.14	93.57	104.29
		目標	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	実施率	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	99
		達成率	100.00	100.00	100.00	99.00	
		目標	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	04060106	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	林 可 奈	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	妊産婦・乳幼児訪問指導の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区での訪問指導 合計:46件	継続実施
第2期	妊産婦・乳幼児訪問指導の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区での訪問指導 合計:30件	継続実施
第3期	妊産婦・乳幼児訪問指導の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区での訪問指導 合計:33件	継続実施
第4期	妊産婦・乳幼児訪問指導の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区での訪問指導 合計:37件	継続実施

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					03060111					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。
--------------------------------------	--------------------------------------

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	齋藤明美
---------	------------	---------	-----------------	------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定健康診査事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	04030218
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	05	疾病予防対策の推進							
				事務事業	01	生活習慣病予防事業							
予算事業名	特定健康診査事業費			会計コード	002	款	08	項	01	目	01	事業	01
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、茅野市国保加入の40～74歳を対象に「特定健康診査」を実施しています。身体計測・血圧測定・尿検査・血液検査等を行っています。不適切な生活習慣が続くと肥満、高血糖、高血圧、脂質がおきやすくなります。自覚症状が出ない為放置すると虚血性心疾患・脳卒中の発症、人工透析の導入となってしまう場合もあります。そのため、特定健康診査を受けていただき、個々のリスクを自分で把握してもらい、生活習慣の改善につなげることを目指します。また適切な治療を継続することで、生活習慣病の重症化を防ぐことを目指します。												
現状と背景 （どうして）	国保データベースシステムにより、医療費分析が可能になり人工透析を受けている人の医療費が医療費全体に占める割合が全国と同規模市と比べ高いことがわかっています。人工透析導入者の約半数に糖尿病があります。糖尿病のある人について、重症にさせないための取組が必要です。また、同規模市と比べ高血圧・脂質異常のある人の割合が高い状態です。												
対象	受益者 （誰のために）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方											
	対象 （直接働きかける）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方											
目的	意図 （どんな状態にしたいか）	特定健診を受ける人が増加する。高血圧・脂質異常症・高血糖等のリスクのある人を明らかにする。											
手段・方法 （どうやって）	特定健診・・・対象者全員に個別通知をし、医療機関で個別健診を5月～10月まで実施します。集団健診については7月・11月～1月まで実施します。また、同等の健診をお受けいただいている方からは、健診結果の写しを提出いただき、結果入力することで受診率の向上に努めています。人間ドックを受けている方のデータ提供についても協力をお願いしています。個別健診終了時に、健診を受けていない人には、集団健診のご案内を個別通知しています。健診結果から、高血圧・脂質異常・高血糖等の人を抽出します。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		未受診者勧奨通知により未受診者を減らす	未受診者への勧奨通知割合	%	未受診者数÷受診対象者			90					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		特定健診受診者数の増加	健診受診率	%	受診者数÷対象者数			60					
	高血圧・脂質異常症・高血糖の人を抽出する	リスクのある人の抽出	%	高血圧・脂質異常症・高血糖リスクのある人の抽出割合			100						

実 施 状 況 （ ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	36,405,382	36,169,688	40,432,237
財 源 内 訳	国庫支出金	円	8,394,000	8,951,000	9,422,000	8,568,000	
	県支出金	円	8,173,000	12,466,000	8,400,000	7,449,000	20,746,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	19,838,382	14,752,688	22,610,237	23,761,370	33,320,000
	正規職員	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数		10,125	9,996	9,665	9,337	
	延利用（者）数 (b)		4,636	4,638	4,675		
	単位コスト (a)/(b)	円	7,853	7,799	8,649		
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	市民一人当たりのコスト	円	648.00	646.00	725.00	717.00	1,098.00
	未受診者への勧奨通知割合	目標	90	90	90	90	90
		実績	84.5	86.6	86	79	90
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
成 果 指 標	健診受診率	目標	60	60	60	60	60
		実績	45.8	46.4	48.4	未確定	60
	リスクのある人の抽出	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
備考	H29から活動指標、成果指標を変更。（リスクのある抽出H26：790人、H27：754人、H28：903人）						

事務事業名	特定健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	04030218	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	集団健診を個別健診の後にしていたが、7月に大腸がん検診とセツト健診にし募集をかけることで受診者を増やす。健診の結果、高血圧等のリスクのある人の抽出を確実にする。	7月の集団健診の希望者が予想以上に多く、お断りする状態となった。個別健診については、昨年度と比べて少ない。対象者の抽出は糖尿病の人が一部漏れてしまった。	来年度は、夏の集団健診を増やす。個別健診についてのPRが必要。糖尿病管理台帳との突合が必要。
第2期	個別健診受診者が少ないので、回覧を作成しPRする。保健指導対象者の抽出について糖尿病管理台帳と突合する。	回覧を作成し、周知を図った。保健指導対象は、糖尿病管理台帳の人全てを対象に拾い上げた。	9月までの受診者が昨年度よりも減少している。医師会へ11月上旬までの延長を依頼。市HPでの呼びかけ。
第3期	未受診者に集団健診の通知を送る。受診勧奨の電話を分担して行う。	未受診者への通知と受診勧奨を行った。	昨年度よりも受診者が減少している。集団の申込みが少なかったため、受診勧奨が大変だった。
第4期	来年度の集団検診の日程について検討するほか、検査結果の提出を増やすための周知について考える。	集団健診の計画を立てる。検査結果提出について他市町村の工夫について調べた。	受診率は、やや増加が見込めるが、まだ工夫していく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	個別健診を短縮したため、受診者の確保が大変だった。10月までであることをもと周知する必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020119															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	特定健診の受診率向上のための取組を引き続きしていく必要がある。	特定健診の受診率向上のための取組を引き続きしていく必要がある。					特定健診の受診率向上のための取組を引き続きしていく必要がある。			
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	治療の結果提出用紙を受診案内に入れる。集団健診は受けやすいように、曜日や日がばらけるように設定する。	治療中の結果提出用紙を受診案内に入れる。集団健診は受けやすいように、曜日や日がばらけるように設定する。					治療中の結果提出用紙を受診案内に入れる。集団健診は受けやすいように、曜日や日がばらけるように設定する。			

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	04030219
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政 策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施 策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細 施 策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 01 生活習慣病予防事業			
予 算 事 業 名	特定保健指導事業			会計コード 002 款 08 項 01 目 01 事業 02		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	内臓脂肪型肥満に着目し、健診によって保健指導対象者を抽出し個別の保健指導を行うのが、特定保健指導事業です。生活習慣病の発症予防と重症化予防が目的です。健診結果によって、動機づけ支援・積極的支援・情報提供の3つに分かれます。動機づけ支援と積極的支援は6か月間の継続支援を行います。情報提供となった方のうち、高血圧・脂質異常・高血糖等のある人については保健指導を行います。保健指導は、保健師・管理栄養士が行います。					
現 状 と 背 景 （どうして）	国保データベースシステムにより、医療費分析ができるようになり人工透析を受けている人の医療費が医療費全体に占める割合が全国の同規模市と比べ高いことがわかっています。人工透析導入になっている人の約半数に糖尿病があります。糖尿病のある人について、重症にさせないための取組が必要です。また、同規模市と比べ高血圧・脂質異常のある人の割合が高					
目 的	受 益 者 （誰のために）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方				
	対 象 （直接働きかける）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳未満の方で、健診を受診し一定以上のリスクがある方				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	高血圧・脂質異常症・高血糖の人が減少する。脳卒中・虚血性心疾患が減少する。糖尿病性腎症による人工透析の新規導入が減少する。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	動機づけ支援・積極的支援の人に特定保健指導を実施し、6か月後に評価を行う。情報提供の人のうち高血糖・脂質異常症・高血糖等のある人にも保健指導を行う。保健師・管理栄養士が個別に健診結果を説明しながら、必要な医療への受診勧奨、生活習慣の改善について保健指導を行う。また、過去に特定健診を受診して高血圧や高血糖があったが、医療受診もなく、健診が未受診の人についても訪問等で受診勧奨や保健指導を行う。糖尿病については、管理台帳を作成し地区担当が保健指導をしていきます。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		特定保健指導実施者数の増加	特定保健指導実施率 （終了者率）	%	特定保健指導実施者数÷保健指導が必要な対象者数	60
		情報提供のうち高血圧等のリスクがある人への保健指導実施率の増加	情報提供のうち高血圧等のリスクがある人へ	%	保健指導実施数÷保健指導対象者	80
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		高血糖で治療していない人が減少	HbA1c8以上で治療なしの人数	人	HbA1c8以上で治療していない人数	0
		重症高血圧で治療していない人が減少	重症高血圧で治療なしの人数	人	血圧180/110以上で治療していない人数	0

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	1,454,184	1,519,605	1,949,000	1,610,597	1,996,000	
財 源 内 訳							
国 庫 支 出 金	円	245,000	252,000	774,000	870,000		
地 方 債	円	245,000	221,000	774,000	917,000	1,938,000	
そ の 他 特 定 財 源	円						
一 般 財 源	円	964,184	1,046,605	401,000	-176,403	58,000	
職 員 数							
正 規 職 員	人	1.91	1.91	1.91	1.91	1.91	
嘱 託 職 員	人						
臨 時 職 員	人						
合 計	人	1.91	1.91	1.91	1.91	1.91	
対 象 ( 者 ) 数		520	550	542	502		
延 利 用 ( 者 ) 数 (b)		256	275	348	416		
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	5,680	5,526	5,601	3,872	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	26.00	27.00	35.00	29.00	296.00	
D （ ）	特定保健指導実施率 （終了者率）	目 標	%	60	60	60	60
		実 績	%	49.2	50.0	55	未確定
	達 成 率	%	82.05	83.33	91.33	#VALUE!	100.00
	情報提供のうち高血圧 等のリスクがある人への 保健指導実施率	目 標	%	80	80	80	80
実 績		%	58	52	48	57	80
達 成 率	%	72.50	65.00	60.00	71.13	100.00	
O （ ）	HbA1c8以上で治療なし の人数	目 標	人	0	0	0	0
		実 績	人	9	16	9	4
	達 成 率	%					#DIV/0!
	重症高血圧で治療なし の人数	目 標	人	0	0	0	0
実 績		人	39	29	39	32	0
達 成 率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
備 考	H29から活動指標、成果指標を変更						

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	04030219	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	保健指導対象者については、電話で断られるケースが多いため、訪問を中心に指導を行う。保健指導を行う職員のレベルアップを図ることで、生活習慣の改善や適切な受診につながることを目指す。	健診受診者がまだ少ない状態だが、訪問等で保健指導を行った。職員の資質向上のための研修会や学習会を実施した。	今年度は、糖尿病管理台帳を作成したため、保健指導対象者が拡大している。漏れのないよう抽出する必要が出てきた。
第2期	糖尿病管理台帳にいる人で受診した人が抽出できるように、エクセルの表で管理する。保健指導研修会を充実させて保健指導に生かす。	糖尿病管理台帳の人を含めて保健指導を行った。	28年度の保健指導終了率については、まだ低い状態。今年度の取組について工夫が必要。
第3期	毎月、4エリアごとの進捗状況を確認する。面接できなかった人についても何回か面接できるように努力する。	エリアごとの進捗状況を把握した。	保健指導の力量形成のための研修について再検討が必要。
第4期	保健指導の力量形成の研修について再検討する。	市全体の保健指導研修会や自主的学習会での研修にできるだけ多く参加するように担当者に伝え、学習機会を増やした。	結果が出せるような保健指導にするためには、引き続き学習していくことが必要。新たに加わるスタッフについても学習できるように工夫していく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 方 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	保健指導については、常に学習して行く中で、より質の高いものにしていく必要がある。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03020120

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	保健指導を行う職員の力量形成が重要であるので、学習会等を使ってレベルアップを図る。	保健指導を行う職員の力量形成が重要であるので、学習会等を使ってレベルアップを図る。									
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	保健指導の学習会で学んだことを実践していけるよう職場ごとの学習会についても充実させる。	保健指導の学習会で学んだことを実践していけるよう職場ごとの学習会についても充実させる。
--------	---	---

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

後期高齢者医療特別会計【茅野市】

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	04030224
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	健康診査事業費			会計コード	004 款 01 項 01 目 01 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康診査の対象者は、実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人に対して、長野県後期高齢者医療広域連合の補助を受けて、年に1回健康診査を実施しています。実施は茅野・原地区医師会の医療機関に委託し5月から12月まで実施しています。健診を実施することで、疾病を早期発見・早期治療し生活習慣病を重症化させないようにし、健康に関心を持ち、生活習慣を見直す機会にしたいとすることを目的に実施しています。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病は、現在、国民医療費（一般診療医療費）の3割、死亡者数の約6割を占めています。また、介護認定の要支援者および要介護者における介護が必要となった主な原因についても、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病が3割を占めており、生活習慣病の予防は、課題となっています。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	健康診査を受ける人が増加する。 介護保険の生活習慣病による、介護保険の認定開始年齢が、今より遅くなる。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市の各種検診のご案内を各家庭に配布し、健診の申し込みを受け付けます。申し込みいただいた人に、個別通知を発送し、茅野・原地区医師会の委託医療機関による個別健診を5月～12月まで実施します。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		後期高齢者健診 必要な人に占める受診割合の増加	受診率	%	受診者数÷対象者（除外対象を除いた後期高齢者人数）	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		生活習慣病の未治療者	受診勧奨値未受診者の割合	%	3疾患で受診勧奨値で受診していない人÷受診者数	5

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	3,193,022	2,972,742	4,793,000	5,680,385	7,765,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円	3,121,053	2,895,200	4,620,000	5,140,128	6,074,000	
一般財源	円	71,969	77,542	173,000	540,257	1,691,000	
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
対象（者）数		3,112	2,771	2,451	2,599		
延利用（者）数 (b)		404	376	412	688		
単位コスト (a)/(b)	円	7,904	7,906	11,633	8,256	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	57.00	53.00	86.00	102.00	154.00	
活動指標	受診率	目標	%	60	60	60	60
		実績	%	13	17	17	26
	達成率	%	21.50	28.83	28.00	44.00	100.00
	—	目標	—				
—	実績	—					
—	達成率	%	—	—	—	—	
成果指標	受診勧奨値未受診者の割合	目標	%	5	5	5	5
		実績	%	2	2	9	21
	達成率	%	38.00	40.00	180.00	420.00	100.00
	—	目標	—				
—	実績	—					
—	達成率	%	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	04030224
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先
						330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診申込者へ通知する。今年度から健診内容が追加となるので医療機関への依頼を確実に 行う。	医療機関への説明を行った。	一部医療機関で、委託先の業者へ市から連絡し ていると思われており、項目の欠損が2名あった。 業者には連絡した。
第2期	受診率アップのため、健診の申込み用紙を保 険証と一緒に7月に発送する。広報でのお知らせ をする。	保険証にあわせて、申込用紙を同封して発送し た。	申込み者が増したため、予算額以上の支出と なる見込み。
第3期	30年度予算については、足りなくならないように 作成する。	30年度は実績にあわせた予算を作成した。	特定健診同様、受診が必要な人へのフォローを する。
第4期	受診勧奨等の人が受診できているか確認す る。	受診勧奨の人の受診状況を確認した。	30年度の変更点があるため、スムーズに健診が 進むよう準備をする必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診受診率が少ない。</li> <li>結果が治療レベルでありながら、治療を受けていない人がいる。</li> </ul>	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが 適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体 の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検 討が必要
	前年度総合評価判定	B
		前年度評価シート整理番号 03020138

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> <li>広報により、健診のPRをした。</li> <li>後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報により、健診のPRをした。</li> <li>後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。</li> </ul>
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診のPRを広報等に掲載する。</li> <li>保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。申し込み用紙を同封する。</li> <li>結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。</li> <li>KDBシステムで健康状態を把握。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診のPRを広報等に掲載する。</li> <li>保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。申し込み用紙を同封する。</li> <li>結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。</li> <li>KDBシステムで健康状態を把握。</li> </ul>

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	感染症予防対策事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030105
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	02	感染症予防対策事業								
	予算事業名	感染症予防対策事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	感染症の発生及び災害発生時の浸水家屋の防疫を行う												
	現状と背景 （どうして）	感染症の発生や災害はいつ起こるか分からないが、発生した場合は感染の拡大を防がなくてはならない。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
			対象 （直接働きかける）	市民										
		意図 （どんな状態にしたいか）	感染症の発生時に感染の拡大を防ぎ、被害を最小に抑える。											
	手段・方法 （どうやって）	感染症の発生または浸水家屋の確認ができれば、噴霧器による消毒液の散布を行う。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		必要物品の確認	確認	回	必要物品の確認				1					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		防疫作業	防疫作業実績											

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円			8,000	7,532	29,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円			8,000	7,532	29,000
職員数	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	0.00	0.00	2.00
活動指標	確認	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	6	1
		達成率	100.00	100.00	100.00	600.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
成果指標	防疫作業実績	目標	-	-	-	1	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
備考	平成29年度台風21号の消毒作業対応						

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030105
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	必要物品の確認		
第2期	必要物品の確認	台風21号による感染症予防のための消毒作業 消毒液等必要物品の購入	消毒のマニュアル整備
第3期	必要物品の確認	災害時の消毒作業マニュアル整備	
第4期	必要物品の確認		

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方向性

②	⑤	⑦
③	⑥	⑨
④	⑧	⑩
①		
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																

課題	感染拡大防止に対する知識の習得。	記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定	A
		前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前	細施策評価後
	感染拡大防止に対する知識の習得。	感染拡大防止に対する知識の習得。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
今後の方向性		②	⑤	⑦				⑥	⑨	
方向性		③	⑧	⑩						④
方向性		④								
方向性		①								
方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	感染症に対する知識の習得を行う。					感染症に対する知識の習得を行う。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	各種がん検診事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030208
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	各種がん検診事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診（集団・病院）：胃バリウム検査</li> <li>大腸がん検診（集団・病院）：便潜血反応検査</li> <li>肺がん検診（集団）：ヘリカルCT検査</li> <li>子宮頸がん検診（病院）：細胞診</li> <li>乳がん検診マンモグラフィー検査、乳房視触診検査（集団・病院）：</li> </ul>												
	現状と背景 （どうして）	昭和60年より死亡原因の1位は悪性新生物で変わらず推移。早期発見、治療のため、疾病への意識付けを、検診受診に結びつけることが必要。検診受診率低迷している。生活習慣病発症または癌の罹患が若年化（特に婦人）してきているにも関わらず受診率が低い。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	市民											
		意図	早期発見、早期治療をすすめる。											
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各世帯に検診のご案内を配布。広報ちの、閲覧板、ホームページ等で周知する。</li> <li>申し込み者に案内通知を送る。検診期間中は随時検診のPRを行う。</li> </ul>												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		検診申込者数	申し込み者数		申し込み者数÷推計対象者				50					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		検診受診率	受診率		受診者数÷推計対象者				40					

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	29,691,097	32,965,701	33,211,641	34,648,246	41,290,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	1,480,800	1,638,300	1,406,400	1,464,500	2,397,000		
一般財源	円	28,210,297	31,327,401	31,805,241	33,183,746	38,893,000		
職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	529.00	589.00	595.00	624.00	840.00		
D （ ）	活動指標	申し込み者数	目標	50	50	50	50	50
			実績	39	45	46	40	50
	達成率	%	78.00	90.20	92.00	80.00	100.00	
	-	-	目標	-	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	受診率	目標	40	40	40	40	40
			実績	12	12	13	14	40
	達成率	%	30.00	30.00	32.75	35.00	100.00	
	-	-	目標	-	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考	受診者数 H28：6,241人、H29：7,009人							

事務事業名	各種がん検診事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030208
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	5月から始まる検診の準備をする。対象者に案内通知を送付する。	4, 5, 6月で対象者に検診票の発送を行った。今年度は、特定健診の間診票と一緒に大腸がんの検診票を送り、特定健診と同時に受診できるようにした。	随時、申し込みが入るので、発送する必要がある。また、集団検診の申込みが定員に達しない可能性がある。
第2期	回覧などを作成したり、がん検診のPRを行っていく。	回覧文書を作り、PRを行った。また、乳幼児健診や予防接種を実施する際、アナウンスを行い、PRした。大腸がん検診(個別)は、8月末現在で昨年よりも、200人受診者が増えた。	より多くの方にがん検診を受けてもらえるよう、PRする必要がある。
第3期	機会あるごとに、がん検診のPRを行う。	乳幼児健診時、子宮頸がん検診時などでがん検診のPRをした。また、特定の集団健診時、大腸がん検診を同時実施し、受診者を増やすことができた。	子宮頸がんは、2月まで実施するため、引き続きPRしていく。他のがん検診については終了したため、まとめをする必要がある。
第4期	今年の実施状況を振り返り、来年受診率が上がるよう、準備する。	大腸がん検診(病医院)の受診者が、大幅に増加した。マンモグラフィ検診、胃がん検診以外は、受診者が増加した。	受診者は増加したが、依然として受診率は低い状況。多くの方にがん検診を受けてもらえるよ、工夫していく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 今年度は、申し込みと関係なく、大腸がん検診の検診票を特定健診対象者に発送した。その結果、受診率が上昇した。手元に検診票が届くと、受けてくれる可能性が高くなると思われる。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 若い方ががん検診を受けてもらうため、節目である40歳、50歳、60歳に無料券を発行する。また、申し込みを取らなければいけない検診以外(子宮頸がん、大腸がん(個別))は、検診票を対象者全員に発送し、受診率の向上を図る。	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ				レ				レ				B
課題	がん検診の種類によって対象年齢が違う。どの検診も年齢が高くなるにほど受診者は多くなっている。がん対策の目的は74歳以下(今後は69歳以下となる予定)のがん死亡率低下である。そのためできるだけ若い年代から検診を受けてもらう必要がある。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020113															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今年度は、大腸がん検診の検診票を、特定健診の受診票に同封し、申し込みを問わず、検診を受けられるようにした。その結果、受診者が大幅に増加した。手元に検診票が届くことで、受診しやすくなったのではないと思う。	今年度は、大腸がん検診の検診票を、特定健診の受診票に同封し、申し込みを問わず、検診を受けられるようにした。その結果、受診者が大幅に増加した。手元に検診票が届くことで、受診しやすくなったのではないと思う。								
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①					レ			
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										
来年度も引き続き、大腸がん検診の検診票を特定健診受診票に同封する。また、40歳・50歳・60歳に各種検診受診券を送り、無料で検診を受けてもらえるようにする。子宮頸がん検診、大腸がん検診については、検診票を40歳、50歳、60歳に送付する。	来年度も引き続き、大腸がん検診の検診票を特定健診受診票に同封する。また、40歳・50歳・60歳に各種検診受診券を送り、無料で検診を受けてもらえるようにする。子宮頸がん検診、大腸がん検診については、検診票を40歳、50歳、60歳に送付する。									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	40歳未満健診事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	04030209
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	40歳未満健診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳未満健診：40歳未満の若年の方、および生活保護世帯の方に行う健診（血液検査・尿検査・内科診察等）				
	現状と背景 （どうして）	40歳～74歳の方には、特定健診と呼ばれるメタボリックシンドロームに着目された健康診査・保健指導が実施されている。40歳未満の方についても、早期から健康診査を実施し生活習慣病予防につなげる。生活保護世帯の方は、医療保険に加入していないため、特定健診ではなく、市が行う40歳未満健診で受診していただく。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	①18歳～39歳までの方 ②生活保護世帯の方 検診（健診）受診率の向上を図ることで、疾病予防・早期治療を進める。			
	手段・方法 （どうやって）	・40歳未満健診（血液検査・尿検査・内科診察等）を実施する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診（健診）受診への啓発	広報掲載	回	広報掲載回数	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		40歳未満健診受診者数の増加	40歳未満健診受診数	人	受診者数	450

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	2,063,062	2,279,812	1,490,425	1,745,613	1,975,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	2,063,062	2,279,812	1,490,425	1,745,613	1,975,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	37.00	41.00	27.00	31.00	63.00	
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	0	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—	
O （ ）	成果指標	40歳未満健診受診数	目標	450	450	450	450
		実績	304	339	334	258	450
	達成率	%	67.56	75.33	74.22	57.33	100.00
	—	目標	—	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—	
備考	H25からシート作成。						

事務事業名	40歳未満健診事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	04030209	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	若い世代の健診受診者を増やす。	申込み書の配布や乳幼児健診の際のPRにより受診の申込みを受け付けた。ネット申込みも随時行った。	6月の受診者が思ったより少なかった。人数の割り振りを多めにする。
第2期	7月の健診の受診者を増やす。	6月よりも割り振り人数を増やした。	おおよそ予定した人数の受診があったが、昨年よりも少ない。
第3期	未受診者も含めて11月の案内を出す。個別健診への移行を検討する。	未受診者も含めて通知を出した。個別健診の予算を確保し、医師会へも協力を依頼した。	昨年度よりも受診者が少なかった。
第4期	個別健診への移行の準備をする。	個別健診の準備を始めた。	医療機関でスムーズに始められるような準備と対象者への通知に工夫をすることが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	乳幼児健診の保護者向けに健診の啓発を行い、新規者および継続受診者を増やしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020139															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。個別健診に30年度から切り替え、受けやすくする。						引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。個別健診に30年度から切り替え、受けやすくする。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。30年度から個別健診に切り替え、受けやすくする。						40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。30年度から個別健診に切り替え、受けやすくする。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					レ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	結核胸部レントゲン検診事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030210
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	結核胸部レントゲン検診事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を行う。（感染症法に基づき実施する検診）												
	現状と背景 （どうして）	感染症法により結核定期検診が義務付けられている。（結核の感染拡大の予防のため）												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象	対象 （直接働きかける）	市民										
	意図 （どんな状態にしたいか）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を受けてもらい早期発見、早期治療につなげ感染を広げない。												
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者全員に個別通知。広報ちの、ホームページ、区内放送等で周知する。</li> <li>市内各公民館を検診車で周りレントゲン撮影を行う。</li> <li>要精密検査者は早期に受診していただく。</li> </ul>												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		広報ちのに掲載	掲載数	回					1					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		受診率	受診率	%	受診者÷対象者				35					

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	6,162,347	6,525,124	7,232,293	7,198,761	7,887,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	6,162,347	6,525,124	7,232,293	7,198,761	7,887,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	110.00	117.00	130.00	130.00	170.00	
D （ ）	活動指標	掲載数	目標	実績	達成率		
			回	1	1	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
O （ ）	成果指標	受診率	目標	実績	達成率		
			%	35	20	57.14	
	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—

備考 H25からシート作成。H24各種検診事業決算額：43,831,755円

事務事業名	結核胸部レントゲン検診事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030210
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	長野県健康づくり事業団と委託契約を締結。対象者への通知の準備、検診当日のスタッフの手配、各区への協力依頼をする。	対象者15,806人に検診票を郵送することができ、スタッフや各区への協力依頼も行った。	検診結果の郵送が始まり、受診者からの問い合わせがある。
第2期	市民からの問い合わせに、スムーズに対応する。	5月から7月にかけて検診を実施。5230人の受診。結果通知も行った。	7月で事業終了。
第3期	要精密検査者の管理をする。	返書があった人の管理を行った。	精検未受診の人がいる。
第4期	精検未受診者への受診勧奨をする。	電話による、受診勧奨を行った。	来年度も、継続実施。対象者に、間違いなく検診票を届ける。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 検診事務をお願いできる人の確保が困難。 公民館での実施であるが、場所によって検診車が斜めになる所がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 区長さんに相談し、公民館の近くの平らな場所をお借りできないか、交渉してみる。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	・肺がんCT検診と年齢が重なる。(65~74歳)胸部レントゲンを受診し肺がんCT検診も受診している方もいる。重ならないようにしていく。また他の市町村では胸部レントゲン検査と肺がん検診を一緒に行っているところもあるため今後検討していく。 ・各公民館の日程で受けられず、最終日付近に受診者が多くなる。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03020140	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。	・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。									
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持			
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小			
	休 廃 止	①						休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	会場の変更を区長さんに相談してみたが、今までどおりでお願いしたいとの返事であった。検診車が斜めになってしまうが、安全に撮影できるように、スタッフに声掛けの周知を行う。					会場の変更を区長さんに相談してみたが、今までどおりでお願いしたいとの返事であった。検診車が斜めになってしまうが、安全に撮影できるように、スタッフに声掛けの周知を行う。					

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	B・C型肝炎検査事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030211
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	B・C型肝炎検査事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	06
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・40歳～85歳の5歳刻みの年齢の方を対象にB型、C型肝炎の早期発見のための検査を行う。												
	現状と背景 （どうして）	現在肝炎ウイルスに感染し、感染に気がつかないままに進行し肝硬変、肝がんに移行する患者がいるため。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象 （直接働きかける）	市民											
	意図	検査を受け早期発見、治療につなげる。												
	手段・方法 （どうやって）	・B型、C型肝炎ウイルス検査を指定医療機関で実施する。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		対象者に案内通知を出す	受診者への通知率	%	通知数÷受診対象者					100				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		B型C型肝炎検査受診者が増える	受診率	%	受診者数÷対象者数					25				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	4,712,963	4,137,106	5,289,000	2,452,367
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円	3,783,000	3,323,320	3,814,000	1,669,000	1,750,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	929,963	813,786	1,475,000	783,367	943,000	
	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	84.00	74.00	95.00	44.00	89.00	
活 動 指 標	受診者への通知率	目標	%	100	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—					
		実績	—					
		達成率	%	—	—	—	—	—
成 果 指 標	受診率	目標	%	25	25	25	25	25
		実績	%	21	18	15	9	9
		達成率	%	84.00	71.20	60.00	35.20	36.00
	—	目標	—					
		実績	—					
		達成率	%	—	—	—	—	—
備考								

事務事業名	B・C型肝炎検査事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030211
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵			連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	5月から検診がスタートするため、契約・病院説明を行う。 対象者への案内通知の準備と発送を行う。 5月末から結果通知も随時行っていく。	4, 5, 6月で対象者に検診票の発送が行えた。 (対象者5,886人) 今年度は、過去に受診した方を対象から除いたため、市民からの問い合わせもなかった。	検査が始まるため、随時結果の発送が始まる。
第2期	滞りなく、結果の発送をする。	結果回収後、すぐに結果票を作り発送することができた。	市議員からの一般質問があり、結果発送に関して見直しをする必要がある。
第3期	現状を振り返り、改善できるところは速やかに改善していく。	結果に同封していたパンフレットが古いものであったため、新しいものを購入し発送するようにした。	11月で検診が終了。受診者は昨年よりも減少。
第4期	対象者が受けやすいよう、来年の準備をする。	通知文などの見直しを行った。	多くの方に、検査を受けてもらうためPRする必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 例年どおりの結果発送を行ってきたが、情報が古いものがあつたりと、実情に合っていなかった。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 通知文なども見直し、受けなければ・・と思ってもらえる周知方法に変える。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B

課 題	・対象者全員に通知した。前年度に比べ受診者は減少した。 ・肝炎治療の新薬が保険適応され、肝炎を早期発見することにより身近で治療することが可能になってきた。今後も受診者が増えるように個別勧奨通知を継続し、必要性を周知していきたい。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
5歳刻みでの検査実施が2巡目となり、受診者が減少する可能性もある。しかし、肝炎を早期発見し、重症化させないためには、必要な検査である。今後も検査できる機会を提供し、多くの方に検査を受けていただけるようにしていく。	生涯に1度の検査。検査の機会が2巡目となり、昨年の受診者と比較すると、受診者はだいぶ減っている。しかし、茅野市の肝炎患者は多く、医療費に占める割合も高い。肝炎は、重症化すると、肝硬変や肝臓がんへと進んで行ってしまうため、早期発見・早期治療をしていくことが重要。
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性 拡 充	
	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持	レ
	成 果 の 方 向 性 縮 小	
	成 果 の 方 向 性 休 廃 止	
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改革・改善策	・検査の必要性も伝え、色々な場面で検査のPRしていく。	・検査の必要性も伝え、色々な場面で検査のPRしていく。
--------	-----------------------------	-----------------------------

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	国保40歳未満健診事業	事業期間	平成 27 ~ 年度	整理番号	04030209
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	40歳未満健診事業費			会計コード	002 款 04 項 02 目 02 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳未満健診：40歳未満の若年の方に行う健診（血液検査・尿検査・内科診察等）				
	現状と背景 （どうして）	40歳～74歳の方には、特定健診と呼ばれるメタボリックシンドロームに着目された健康診査・保健指導が実施されている。40歳未満の方についても、早期から健康診査を実施し生活習慣病予防につなげる。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	18歳～39歳までの国保加入者			
		意図	検診（健診）受診率の向上を図ることで、疾病予防・早期治療を進める。			
	手段・方法 （どうやって）	・40歳未満健診（血液検査・尿検査・内科診察等）を実施する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診（健診）受診への啓発	広報掲載	回	広報掲載回数	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		40歳未満健診受診者数の増加	40歳未満健診受診数	人	受診者数	450

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円			765,701	401,660	944,000	
財源内訳							
国庫支出金	円			617,000	325,000		
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円			148,701	76,660	944,000	
職員数	人			0.30	0.30	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人			0.30	0.30	0.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円			-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円			14.00	7.00	31.00	
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標	回	1	1	1
		実績	回	1	0	1	
	達成率	%		100.00	0.00	100.00	
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率	%		-	-	-	
O （ ）	成果指標	40歳未満健診受診数	目標	人	450	450	450
		実績	人	334	258	450	
	達成率	%		74.22	57.33	100.00	
	-	目標	-				
-	実績	-					
-	達成率	%		-	-	-	
備考							

事務事業名	国保40歳未満健診事業	事業期間	平成 27 ~	年度	整理番号	04030209	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	若い世代の健診受診者を増やす。	申込み書の配布や乳幼児健診の際のPRにより受診の申込みを受け付けた。ネット申込みも随時行った。	6月の受診者が思ったより少なかった。人数の割り振りを多めにする。
第2期	7月の健診の受診者を増やす。	6月よりも割り振り人数を増やした。	おおよそ予定した人数の受診があったが、昨年よりも少ない。
第3期	未受診者も含めて11月の案内を出す。個別健診への移行を検討する。	未受診者も含めて通知を出した。個別健診の予算を確保し、医師会へも協力を依頼した。	昨年度よりも受診者が少なかった。
第4期	個別健診への移行の準備をする。	個別健診の準備を始めた。	医療機関でスムーズに始められるような準備と対象者への通知に工夫をすることが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	乳幼児健診の保護者向けに健診の啓発を行い、新規者および継続受診者を増やしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020139															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。						引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。30年度から個別健診に切り替え、受けやすくする。						40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。30年度から個別健診に切り替え、受けやすくする。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					レ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	緑内障検査事業	事業期間	平成 29 ~ 30 年度	整理番号	04030107
担当部署	健康福祉部 健康づくり推進課 健康総務係	作成担当者名	小池 穰	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	緑内障検査事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のための検査を行う。				
	現状と背景 （どうして）	日本人の40歳以上では20人に1人が緑内障になっていると報告されており、早期発見・早期治療の重要性が言われている。緑内障は自覚症状が無いために、気が付いた時には視野の欠損が進行している人が見られ、治療が遅れて多くの視野を失ってしまう場合もあるため。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象	対象 （直接働きかける）	市民		
	的	意図 （どんな状態にしたいか）	早期発見、早期治療につなげる。			
	手段・方法 （どうやって）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のために検査を行う。（市内指定医療機関）				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		申し込み者が増えるよう周知する	広報掲載	回		1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		緑内障検診受診率	受診率	%	受診者数÷検診対象者数	5

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	419,494	673,026	756,000	874,038	943,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	419,494	673,026	756,000	874,038	943,000	
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	7.00	12.00	14.00	16.00	31.00	
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	受診率	目標	5	5	5	5
		実績	3	5	8	6	5
	達成率	%	50.00	100.00	156.00	120.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	緑内障検査事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030107
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	小池 穂	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	案内通知等の作成をする。契約等、検診の準備を行う。	広報でPRするタイミングで、起案も上げることができ、準備がスムーズに行えた。	特になし。
第2期	問診票を発送し、検診を受けてもらう。PRをし多くの方に検診を受けてもらえるようにする。	問診票の発送を行った。発送を行う時期よりも早く申し込んでくれた方には、発送時期をお伝えするなどの対応ができた。	随時申し込みが入り、問診票を発送しなければならないため、素早い処理が求められる。
第3期	滞りなく、問診票を発送する。	一斉発送後からは、申し込みを受けた人が問診票を発送するように方法を変え、滞らずに発送することができた。	申し込みの受付簿が他の検診と同一になっているので、間違えないように処理する。
第4期	検査結果の統計処理をする。	健康カルテへの入力、エクセルシートへの入力を済ませ、統計処理を完了した。	入力に若干の滞りがあったため、次年度は滞りなく完了する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定					
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4										3										4	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑内障検診は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。</li> <li>今年度は、受診者数が増加した。他の検診の発送しチラシを入れたことが、効果的だったと思われる。</li> </ul>																				記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要				
																						前年度総合評価判定	B			
																						前年度評価シート整理番号	03020142			

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑内障検診は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。</li> <li>緑内障検診は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。</li> </ul>																		
前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性										

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後										
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充			②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充										
改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性	現 状 維 持			③	⑥		⑨	現 状 維 持										レ		
		縮 小			④	⑧		⑩	縮 小												
		休 廃 止	①						休 廃 止												
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>緑内障は生活習慣病とも関係があるため生活習慣病の予防とともに若い世代に受診していただけるように働きかけていく。</li> <li>他の検診の通知にPR文書を同封等して検診周知をしていきたい。</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>緑内障は生活習慣病とも関係があるため生活習慣病の予防とともに若い世代に受診していただけるように働きかけていく。</li> <li>他の検診の通知にPR文書を同封等して検診周知をしていきたい。</li> </ul>									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進総務事業			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	04030207
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	健康増進事業総務費			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市で実施している健診・検診受診者や希望者に健康手帳を配布し、健診結果をファイリングしたり、血圧等の自身の変化を記録することにより、生活習慣病予防や健康づくりに役立てていただきます。												
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病は、繰り返される生活習慣により発症し、短期で発症するものではありません。生活習慣病を予防するには、健診を受ける事、受けた結果を活用し予防に役立てる事が大切です。健康手帳等に健診結果をつづり、経過を確認していくことで、生活習慣病等の予防につながります。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
		意図 （どんな状態にしたいか）	健診結果を経年的に見ていくことは、健康づくり・疾病の早期発見にとって重要なことです。このような人が増える事で、健康に関心を持つ人が増え、健診受診者や健康に気をつける人が増加すると考えます。											
	手段・方法 （どうやって）	市の健診・がん検診・歯科検診等の各種検診受診者や希望者に、健診受診時や保健福祉サービスセンターおよび健康管理センターで健康手帳を配布し説明します。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		健康手帳の配布機会	配布事業数	回	手帳を配布した事業の数				16					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		健康手帳の配布された割合	配布割合	%	手帳を配布した人の40歳から74歳人口に占める割合（H23からの累計）				50					

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	977,911	680,316	909,000	536,622	732,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円	126,000	89,000	201,000	35,000				
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円	851,911	591,316	708,000	501,622	732,000			
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合 計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	17.00	12.00	16.00	10.00	27.00			
D （ ）	活動指標	配布事業数	目標	回	16	16	16	16	16
			実績	回	16	16	16	16	16
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	-	目標	-					
実績			-						
達成率	%	-	-	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	配布割合	目標	%	50	50	50	50	50
			実績	%	82	86	90	95	50
	達成率	%	164.00	172.00	180.00	190.00	100.00		
	-	-	目標	-					
実績			-						
達成率	%	-	-	-	-	-			
備考									

事務事業名	健康増進総務事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	04030207	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	各種検診で健康手帳を配布します。	各種検診で健康手帳を配布しました。	集団健診での配布をしています。個別健診では、医療機関により配布の差があります。
第2期	各種検診で健康手帳を配布します。	各種検診で健康手帳を配布しました。	集団健診での配布をしています。個別健診では、医療機関により配布の差があります。
第3期	各種検診で健康手帳を配布します。	各種検診で健康手帳を配布しました。	国では、紙ベースの手帳を廃止し、パソコンダウンロードするとしているので、検討してみる。
第4期	国の様式を参考に検討する。	国の様式を確認したが、市販のものを利用する方が効率が良いと思われる。	健康手帳の配布で効果があるかどうかの検証ができていない。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかる。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03020135															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		・健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布できた。					健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布できた。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止					②	⑤	⑦							
					③	⑥	⑨								
					④	⑧	⑩								
				①											
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
改 革 ・ 改 善 策	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかること。そのために、健診や手帳配布時に活用の仕方をPRしていく。					最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかること。そのために、健診や手帳配布時に活用の仕方をPRしていく。									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		情報提供事業		事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	04030201
担当部署		健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先 330
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	05	疾病予防対策の推進	
				事務事業	04	情報提供事業	
	予算事業名	一般事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 03	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健事業の的確な情報の伝達・啓発のため、健康カレンダー等を発行し広く市民の検診（健診）への呼びかけを行い疾病予防対策を行っている。					
	現状と背景 （どうして）	普段の生活のなかでは、健康に対する認識が薄く食生活及び生活習慣の乱れから疾病予防対策が必要であると考えています。このことから、市民に対しての健康意識の高揚を図る啓発を行う。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民				
		対象 （直接働きかける）	同上				
		意図	・自分が将来何らかの病気にかかるかもしれないという事を認識し、定期的に健診を受診することをライフスタイルに組み込むことにより、自分自身の健康管理ができること。 ・必要なときに、情報を的確に知ることができる。				
	手段・方法 （どうやって）	毎年3月に健康カレンダーの発行（各種検診・健診申し込み書添付）広報・ホームページ・びーなチャンネルなどを通じて健康に関する啓発を行う。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		健康カレンダー発行	発行回数	回			1
		広報等掲載回数	掲載回数	回			12
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
健診・検診申込者の増加		健診・検診申込者数	人			4,000	

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	637,200	874,800	864,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	637,200	874,800	864,000	742,262	972,000
職 員 数	正規職員	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	11.00	16.00	15.00	13.00	39.00
活 動 指 標	発行回数	目標	回	1	1	1	1
		実績	回	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	掲載回数	目標	回	12	12	12	12
		実績	回	12	12	12	12
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-	目標	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標	健診・検診申込者数	目標	人	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	人	2,347	6,705	6,228	9,535
	達成率	%	58.68	167.63	155.70	238.38	
	目標	-					
-	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	情報提供事業	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	04030201	
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	広報・ビーナチャンネル・ホームページでの検診のお知らせを随時行っていく。	広報・ビーナチャンネル・ホームページでの検診のお知らせを行った。集団健診で申込みが少ないものについて回覧を行った。	受診者が集まらない集団健診等についてPR方法を考えていく必要がある。
第2期	広報・ビーナチャンネル・ホームページ・回覧等での検診のお知らせを随時行っていく。	広報・ビーナチャンネル・ホームページでの検診のお知らせを行った。集団健診で申込みが少ないものについて回覧を行った。	受診者が集まらない集団健診等についてPR方法を考えていく必要がある。
第3期	健康ポイント事業を新たに立ちあげる。	健康ポイント事業を開始した。	市民への周知、来年度の準備が必要。
第4期	来年度に向けての準備を始める。	健康ポイント事業の計画を立てた。	参加者が増えるような工夫を考える。本格実施に向けた準備を始めることが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 がん検診の受診率が伸びないため、新たな健康ポイント事業を始める準備をする。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 健康ポイント事業を実施する。	② ⑤ ⑦ レ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					レ	3					4	B
課題	冊子形式にし、内容や受け方はわかりやすくなったが、健診の申し込み人数が増えない。どうしたら健診を受けたいと思うのか、受けやすい環境の整備と意識を変える事が課題。																
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																
前年度総合評価判定	B																
前年度評価シート整理番号	03020116																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
		申し込み書は定着してきたものの、経費と手間がかかっている。もう少し簡素化したものにしてほしいと考える。メールは若い年代の人の申し込みが多くありました。申し込み期間を長く設定するよう変更しました。													
	申し込み書は定着してきたものの、経費と手間がかかっている。もう少し簡素化したものにしてほしいと考える。メールは若い年代の人の申し込みが多くありました。申し込み期間を長く設定するよう変更しました。														
	前年度改革・改善策の実施状況					実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( ACTION )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後											
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充								レ
		現 状 維 持	③	⑥		⑨		現 状 維 持									
		縮 小	④	⑧		⑩		縮 小									
		休 廃 止	①					休 廃 止									
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										
改 革 ・ 改 善 策	・ 会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・ 乳幼児健診等で、健診受診の呼びかけをしていきます。 ・ 検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはいけないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。										・ 会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・ 乳幼児健診等で、健診受診の呼びかけをしていきます。 ・ 検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはいけないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。						

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保健補導員活動支援事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030204
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	05	保健補導員会活動支援事業								
	予算事業名	保健補導員活動支援事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	自らの健康意識の高揚、地域住民への健康教育の実践をとおり、地域の健康づくりをすすめるため、保健補導員会の支援活動を行う。												
	現状と背景 （どうして）	地域住民への健康教育の実践等をとおり、疾病の一次予防を中心とした活動を実践し、市民の健康で安全な生活をすすめるために、保健補導員の活動が必要である。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
			対象 （直接働きかける）	保健補導員										
		意図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員が地域の中で活動しやすい環境をつくる。											
	手段・方法 （どうやって）	健康づくりに関する情報提供を行う。健診結果の統計など、地域住民の健康課題を伝え、対策をともに考える。保健補導員の学習会企画時には、専門の講師等を紹介し、活動が円滑にすすむようにする。												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		保健補導員理事会（平成26年度まで）		回					8					
		保健補導員事務局会議（平成27年度から）	事務局会議開催回数	回					2					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		地域での学習会などの活動が活発化する	地区活動回数	回	報告書から				250					

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	2,427,000	1,797,723	2,029,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円	176,000	184,000	240,000	200,000	240,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円	171,000				
	一般財源	円	2,080,000	1,613,723	1,789,000	1,625,020	1,806,000
職 員 数	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	43.00	32.00	36.00	33.00	37.00
	活動指標	目標 実績 達成率	回 7 %	— — %	— — %	— — %	— — %
事 務 局 会 議 開 催 回 数	目標 実績 達成率	回 2 %	— 2 %	2 100.00	2 100.00	2 100.00	2 100.00
	—	—	—	—	—	—	—
成 果 指 標	目標 実績 達成率	回 250 %	— 238 %	— — %	— 250 95.20	250 250 100.00	
	—	—	—	—	—	—	
備 考							

事務事業名	保健補導員活動支援事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030204
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥晴美	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事務局会議を開催し、情報の共有、課題の共有ができるようにする。	事務局会議を開催し情報を共有することができた。	引き続き地区ごとの活動がスムーズに行えるように支援する。
第2期	特定健診・がん検診など地区別に抽出が可能なデータを更新していく。	情報を要求された場合は情報提供ができた。	各SCと連携をし、情報共有をする。
第3期	事務局会議を開催し、本年のまとめをし、新年からの保健補導員活動に生かす。	事務局会議を開催し、情報の共有、課題を出し合ったり、他の地区の活動を学ぶ機会となった。	理事会がなくなったことで、情報共有が難しくなっている。
第4期	新保健補導員への研修会を開催し、保健補導員活動、茅野市の健診等に関する情報提供を行う。	新保健補導員対象に研修会を開催することができた。	当日欠席者の周知 茅野市の問題を各地区活動を通してさらに理解を深め地区活動に生かしていく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 保健予防業務の負担金の配分方法を見直す。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	理事会がなくなったため、各地区・支部活動への支援、課題の共有ができるように考えていくことが必要。 保健補導員のあり方が多様化しているため、活動方法など検討する必要がある。															
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性					03020117

評 価 観 点	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定					
CHICK	特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。										特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。				
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策									
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定					
CHICK	事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。保健予防業務の負担金の配分方法を見直す。										事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。保健予防業務の負担金の配分方法を見直す。				
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	04060107
担当部署	健康福祉部 中部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 05		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的	受益者 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民				
	対象 （直接働きかける）	ちの・米沢・中大塩地区保健補導員				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。					
	手段・方法 （どうやって）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	ちの・米沢・中大塩地区会の開催回数	12
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回	開催回数	19
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	$(\text{保健補導員会参加者} \div \text{保健補導員数}) \times 100$	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	$(\text{保健補導員数} + \text{講演会等参加者数}) \div \text{中部地区20歳以上の人口の} 10\% \times 100$	80

項 目	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円								
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円								
職員数	人				0.17	0.17			
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人				0.17	0.17			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	23.00			
D （ ）	活動指標	地区会 開催回数	目標	回	12	14	12	12	12
			実績	回	12	12	12	12	12
		達成率	%	100.00	85.71	100.00	100.00	100.00	
	講演会・講習会の実施回数	目標	回	16	18	19	19	19	
		実績	回	16	19	19	19	19	
		達成率	%	100.00	105.56	100.00	100.00	100.00	
-	目標	-	-	-	-	-			
	達成率	%	-	-	-	-			
O （ ）	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	100		
		実績	%	65	91	74	89	100	
		達成率	%	65.00	91.00	74.00	89.00	100.00	
	講演会・講習会の参加率	目標	%	80	80	80	80		
		実績	%	36	65	27	46	80	
		達成率	%	45.00	81.25	33.75	57.50	100.00	
備考									

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	04060107	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	保健補導員会の開催	米沢地区 :2回 中大塩地区:2回	継続実施
第2期	保健補導員会の開催	米沢地区 :2回 中大塩地区:2回	継続実施
第3期	保健補導員会の開催	米沢地区 :1回 中大塩地区:1回	継続実施
第4期	保健補導員会の開催	米沢地区 :1回 中大塩地区:1回	継続実施

事 中 評 価																			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 方 向 性</td> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性		拡 充	②	⑤	⑦													
	現 状 維 持		③	⑥	⑨														
	縮 小		④	⑧	⑩														
	休 廃 止	①																	
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<p style="text-align: center;">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	保健補導員の負担軽減を考え、地区会の回数は検討し支部ごとの活動を充実させている。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	A	
前年度評価シート整理番号	03060113	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
地区支部活動を充実させることを目標にしたい。	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
前年度細施策評価における今後の方向性	

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後																																
成 果 的 方 向 性	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①			<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td></td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充				現 状 維 持			⑥	縮 小				休 廃 止			
拡 充	②	⑤	⑦																															
現 状 維 持	③	⑥	⑨																															
縮 小	④	⑧	⑩																															
休 廃 止	①																																	
拡 充																																		
現 状 維 持			⑥																															
縮 小																																		
休 廃 止																																		
方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																

改革・改善策	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。
--------	--	--

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	齊藤 明美
---------	------------	---------	-----------------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		こころの健康づくりの普及啓発事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04060108				
担当部署		健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子		連絡先	82-0107					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進									
			細施策	06	こころの健康									
			事務事業	02	心の健康づくりの普及啓発事業									
	予算事業名				会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。												
	現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。												
	目的	受益者 （誰のために）	ちの・米沢・中大塩地区に住む市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
	意図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。												
	手段・方法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		訪問等による心の相談	相談件数	件						40				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件						40				

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円				
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
職員数	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
O （ ）	活動指標	相談件数	目標	件	40	40	40	40
			実績	件	32	21	35	54
		達成率	%	80.00	52.50	87.50	135.00	100.00
	-	-	目標	件				
			実績	件				
		達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	相談件数	目標	件	40	40	40	40
			実績	件	32	21	35	54
		達成率	%	80.00	52.50	87.50	135.00	100.00
	-	-	目標	件				
実績			件					
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04060108
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	訪問等による心の相談の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の相談件数 合計:13件	継続実施
第2期	訪問等による心の相談の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の相談件数 合計:13件	継続実施
第3期	訪問等による心の相談の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の相談件数 合計:14件	継続実施
第4期	訪問等による心の相談の実施	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の相談件数 合計:14件	継続実施

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03060115															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていく必要がある。					今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていく必要がある。			
改革・改善策	前年度改革・改善策の実施状況 一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後										
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止
改革・改善策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。										
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	斉藤 明美
---------	------------	---------	-----------------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの相談事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030206
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	06	こころの健康
				事務事業	02	心の健康づくりの普及啓発事業
	予算事業名	こころの相談事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 02 事業 08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの健康づくりの普及啓発として、増加傾向にある自殺対策を始めとする、こころの健康についての相談や各企業を対象とした講演会を実施することにより、こころの健康についての理解と知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施する。</li> <li>・こころの不調により自殺への意向を防ぐために専門家による相談を行う。</li> <li>・薬物依存・アルコール依存防止のための活動を行う。</li> </ul>				
	現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺者が減少しない。</li> <li>・アルコール依存症になるとそこから抜け出すのが難しく、肝機能障害や痛風を起こしている方がいる。</li> <li>・たばこによる害がある。</li> </ul>				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	市民			
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の中小企業を中心に向いてこころの健康についての講座を行う。（臨床心理士、看護師、スポーツインストラクターなど）</li> <li>・自殺企図へ移行しないように専門家による面接を行う。（対面型相談）</li> <li>・こころの健康について（自殺・アルコール依存・ニコチン依存）と相談場所を周知のため広報ものに記事掲載する。</li> </ul>				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		広報活動	広報	回		2
		対面型相談	対面型相談件数	件		68
		中小企業への出張講座	実施回数	回		10
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		死亡原因が自殺の率を減らす	自殺死亡率	%	自殺統計	14
自殺者数を減らす		自殺者数	人	自殺統計	10	

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	751,997	679,847	758,000	1,486,328	1,590,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円	745,997	462,000	378,000	736,000	794,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	6,000	217,847	380,000	750,328	796,000	
	職員数	人	0.11	0.11	1.11	1.11	1.11	
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.11	0.11	1.11	1.11	1.11		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	13.00	12.00	14.00	27.00	180.00	
活 動 指 標 （ ）	広報	目標	回	2	2	2	2	
		実績	回	2	2	2	2	
		達成率	%	100.00	100.00	-	100.00	100.00
	対面型相談件数	目標	件	68	68	68	100	100
		実績	件	85	74	144	218	100
		達成率	%	125.00	108.82	211.76	218.00	100.00
	実施回数	目標	回	10	10	10	10	10
		実績	回	6	8	6	6	10
		達成率	%	60.00	80.00	60.00	60.00	100.00
	成 果 指 標 （ ）	自殺死亡率	目標	%	14	14	14	14
			実績	%	21.27	12.42	21.36	19.61
		達成率	%	151.93	88.71	152.57	140.07	100.00
自殺者数		目標	人	10	10	10	10	10
	実績	人	12	7	12	11	10	
達成率	%	120.00	70.00	120.00	110.00	100.00		
備考	平成29年から自殺以外での死亡率から自殺死亡率へ変更							

事務事業名	こころの相談事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030206
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥晴美	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	・企業にメンタルヘルス講座の案内を送る。 ・こころの相談を随時実施。	・商工課に依頼して約500社にメンタルヘルス出張講座の案内通知を発送。 ・こころの相談を50件実施した。 ・メンタルヘルス出張講座を3件実施した。	・企業のメンタルヘルス出張講座の依頼は現在のところ3件。増やせるように周知していく。
第2期	・こころの相談は希望があれば随時実施していく。	・こころの相談54件実施した。 ・メンタルヘルス出張講座を1件実施した。 ・9月の自殺予防週間には、広報によりメンタルヘルスの記事を掲載。保健福祉事務所職員とレイクウォークで啓発活動を実施した。	・企業のメンタルヘルス出張講座の依頼は現在のところ4件。増やせるように周知していく。 ・こころの相談事業は、件数が増加している。
第3期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。	・メンタルヘルス出張講座を1回実施した。 ・こころの相談を59回実施。	・こころの相談、出張講座等希望があれば随時対応していきたい。
第4期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。 ・メンタルヘルス出張講座の依頼があれば随時実施していく。・広報にこころの相談について載せる。	・3月末までにこころの相談を計144回実施。 ・メンタルヘルス出張講座は、計6回実施。 ・広報をみてこころの相談を予約する人があった。	自殺対策計画策定が義務付けられているため、来年度、策定をしていく。 ゲートキーパーを養成し、自殺は個人の問題ではないことを周知し、生活しやすいようにする必要がある。

事 中 評 価		今 後 の 方 向 性		成 果 の 方 向 性		拓 充 的 方 向 性	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	自殺対策計画の策定が必要 ゲートキーパーを養成し、自殺のサインに気づける人材を育てる必要がある。	今年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	自殺対策計画の策定が必要 ゲートキーパーを養成し、自殺のサインに気づける人材を育てる必要がある。	②	⑤	⑦	⑨
				③	⑥	⑧	⑩
				④	①		
				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					3					4	B	
チェック																	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころの健康相談については、今年度実施回数が増えた。こころの健康相談が始まった当初から継続で面接を行っている相談者もいる。他の支援も入っているケースもあるが精神的に不安定で定期的に相談が必要な者もいる。新規者については、26年度から子ども部に臨床心理士がいることからどちらで行った方がよいケースか検討して行く必要がある。</li> <li>出張講座については定着している企業もある。しかし定着してきている企業は規模も大きくメンタルヘルスの体制が整っている企業が多い。本来必要な小規模な企業は講座を設ける時間も難しいため今後方法を検討していく必要がある。</li> <li>自殺死亡率が増えているので、様々な分野と連携し、茅野市自殺対策計画を策定し、予防のための方策を検討し、ゲートキーパー養成をしていく必要がある。</li> </ul>															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定																	
前年度評価シート整理番号																	

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。事業の進め方を改善していくことが必要である。	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。事業の進め方を改善していくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦	⑨	⑦				
現状維持	③	⑥	⑧	⑩	⑩					
縮小	④	⑧								
休廃止	①									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

改革・改善策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・対面型相談は、子ども関係の相談は子ども部や母子の相談へつなげていく。対象者の時間的な都合も考慮し、より身近に利用できるように工夫していく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。	・対面型相談は、子ども関係の相談は子ども部や母子の相談へつなげていく。対象者の時間的な都合も考慮し、より身近に利用できるように工夫していく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。								
・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。	・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。									
・他部署、他部門と連携をし、茅野市の現状にあった自殺対策計画を策定していく。そして、ゲートキーパーを養成していく。	・他部署、他部門と連携をし、茅野市の現状にあった自殺対策計画を策定していく。そして、ゲートキーパーを養成していく。									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------



平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	04060105
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中谷 恵美
				連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援							
				事務事業	02	健康教室事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域の方々や高齢者クラブ等地域の集まりで健康教室を開催し、市民一人ひとりの健康意識を高めたり、具体的な健康づくりの方法について講話を行う。											
	現状と背景 （どうして）	近年少子高齢化により、疾病及び加齢に伴う医療や介護による負担が増加している。こうした変化に対応するためには市民一人ひとりが生活習慣病を予防し、社会生活を営むために必要な機能を維持・向上することによって健康づくりを推進することが必要である。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	ちの・米沢・中大塩地区の住民									
		対象	対象 （直接働きかける）	同上									
		意図	健康教室を実施することで個人の健康意識を向上させ、市民一人ひとりが健康を育む習慣に関心を持ち、健康づくりを自ら実施できるようになる。										
	手段・方法 （どうやって）	高齢者クラブや保健補導員会等地域の集まりで健康教室を行い、生活習慣病予防を主とした病気の理解を深め、心身の機能を維持・向上するために住民自ら健康づくりを進められるように支援します。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりでの健康講話の実施	開催回数	区	開催回数の合計				20				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数				100				

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）		
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円							
	財源内訳								
	国庫支出金	円							
	県支出金	円							
	地方債	円							
	その他特定財源	円							
	一般財源	円							
	職員数	人				0.05	0.05		
	正規職員	人							
	嘱託職員	人				0.05	0.05		
臨時職員	人								
合計	人				0.10	0.10			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	8.00			
活 動 指 標 （ ）	開催回数	目標	区	13	13	25	20	20	
		実績		20	38	18	22	20	
		達成率	%	153.85	292.31	72.00	110.00	100.00	
	-	目標							
		実績							
		達成率	%	-	-	-	-	-	
	-	目標							
		実績							
		達成率	%	-	-	-	-	-	
	成 果 指 標 （ ）	開催率	目標	%	100	100	100	100	100
			実績		100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
目標									
実績									
達成率	%	-	-	-	-	-			
備考									

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	04060105	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健康教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の高齢者クラブ等 合計:5回	継続実施
第2期	健康教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の高齢者クラブ等 合計:5回	継続実施
第3期	健康教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の高齢者クラブ等 合計:5回	継続実施
第4期	健康教室の開催	ちの地区・米沢地区・中大塩地区の高齢者クラブ等 合計:5回	継続実施

事 中 評 価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦													
	現 状 維 持		③	⑥	⑨													
	縮 小		④	⑧	⑩													
	休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					レ	3					4	B
課題	<p>高齢者クラブでは定例会を利用して健康講話の要望があるが、全地区には実施できておらず、また割り当ての時間が短いという課題がある。保健補導員主催の健康教室では参加者の集まりが悪く、開催する日程、時間等で工夫が必要である。</p>																
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>																
前年度総合評価判定	B																
前年度評価シート整理番号	03060110																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	高年齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、高年齢者クラブに加入する前の世代の方へも話す機会を広げていく必要がある。	高年齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、地区全体では実施されていない。開催する日程、時間、講話内容等工夫して、高年齢者クラブも含めより多くの地域の方に、健康意識を高め健康づくりに取り組めるように事業を実施していく必要がある。									
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( ACTION )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充			
	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小	④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話を聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。					今後も高齢者クラブ・他の集会への働きかけや保健補導員を通じ各行政区に健康意識が高まるような機会を設けてもらえるよう働きかけを継続する。				

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	齋藤 明 美
---------	------------	---------	-----------------	--------

平成29年度事務事業評価シート（一般経費・補助金等用）

一般会計【茅野市】

補助金等名	青少年薬物乱用防止対策推進事業費	事業期間	平成 28 ~ 年度	整理番号	07010115
担当部署	教育委員会 子ども部 子ども課	作成担当者名	今井明彦	連絡先	612

概	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
				施策 05	第5節 健康づくりの推進									
				細施策 06	こころの健康									
				事務事業 02	心の健康づくりの普及啓発事業									
	予算事業名	青少年薬物乱用防止対策推進事業費			会計コード	001	款	10	項	05	目	03	事業	14
	交付先(団体名)	茅野市薬物乱用防止協議会			代表者	藤森憲司			設立時期	平成25年1月				
	団体の活動目的及び事業概要	未成年者の喫煙や飲酒及び薬物乱用防止対策推進に関する活動を通して、青少年の健全育成を図る。												
支出する根拠(経緯)	青少年の健全育成のため													
支出する目的(効果)	茅野市薬物乱用協議会が学校での薬物乱用防止教室へ講師を派遣する。また、広く市民に対して啓発活動を行うことにより、薬物乱用防止を推進する。													
団体の当年度予算額	383,015 円		市支出額	226,000 円		市負担割合	59 %		団体前年度繰越額	27,015 円				
要	評価指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値						
		薬物乱用防止教室の開催による啓発	薬物乱用防止教室の開催	回	市内の小中学校及び高等学校で各1回開催			15						

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算又は決算額)	平成30年度事業計画(予算)	
実施状況	事業費等(補助金等)(a)	円			226,000	226,000	226,000	
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円			226,000	226,000	226,000	
成果指標	薬物乱用防止教室の開催	目標実績	回		15	15	15	
		達成率	%	-	-	133.33	100.00	100.00
	-	目標実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-

評価	課題	評価項目	判定	説明等
		補助金等を支出する必要性は現在の社会環境下においても高いか	高い	薬物使用による犯罪等を防止するためにも、必要である
		補助金等の支出に見合う効果は得られているか	いる	問題のあるケースが発生していないため、効果がある
改革	課題	当該補助金の目的と同等の(類似した)内容で同一団体への支出が複数ないか	ない	ない。
		当該補助金の目的と同等の(類似した)内容で他団体への支出がないか	ない	ない。
改善策	総改善評価	補助金等の額の見直しは可能か	不可	事業費の大半は構成団体から負担金であるため、不可能である。
		評価判定	記号の定義	改革・改善策
	I	I: 補助金等を現状のとおり支出することが適当	薬剤師からの視点に沿って講座が開催されているため、青少年健全育成の一翼を担っていただいている。	
	II	II: 補助金等の額を見直すことが適当		
	III	III: 他の補助金等と統合することが適当		
	IV	IV: 補助金等を休・廃止することが適当		

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	子ども課長	五味健志
---------	------------	---------	-------	------